

平成 29 年度実施 卒業生対象の追跡調査【歯科衛生学科】

【全体概要】

16 期卒業生とその就業先施設を対象に卒業後 3 年経過したところで、就業状況と歯科衛生学科の基礎教育、社会人として身につけた能力に関する追跡調査を実施した。

1) 就業状況について（卒業生からの回答）

現在の就職先については、一般開業医が 13 名、大学病院が 3 名、福祉施設が 1 名で、現在離職している者は 3 名であった。現在就業中の 17 名のうち、卒業後同じ勤務先で就業している者は 11 名 (64.7%)、最初の勤務先を退職し別の就職先で就業している者は 6 名 (35.3%) であった。また、離職している理由としては、結婚退職や妊娠などであった。転職経験に関する質問では、身体的・精神的な負担や処遇・人間関係、地元への帰省などを理由としてあげていた。

2) 短大で充実すべき教育内容について（卒業生並びに就職先施設からの回答）

診療の補助・介助業務 34 項目、予防処置業務 14 項目、保健指導関連業務 19 項目、口腔介護関連業務 14 項目について調査した。

卒業生並びに就職先施設の 5 割以上が充実を望む項目として、診療の補助・介助業務に関しては 15 項目、就職先施設からは 11 項目で、両者ともに選択した共通項目は 7 項目であった。予防処置業務では卒業生は全ての 14 項目、就職先施設からは 13 項目で、共通項目は 13 項目であった。保健指導関連業務では卒業生は 13 項目、就職先施設からは 13 項目、共通項目は 11 項目であった。口腔介護関連業務では卒業生は 7 項目、就職先施設からは 5 項目で、共通項目は 4 項目であった。

3) 対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力、処理力、思考力、専門力等の修得状況について

対人基礎力 3 項目、対自己基礎力 3 項目、対課題基礎力 3 項目、処理力 2 項目、思考力 2 項目、専門力 2 項目を調査した。

(1) 卒業生からの回答

対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力については半数以上の卒業生は 3 年間で身につけたと回答しているが、専門知識や技術・技能に関しては逆に半数以上の卒業生が未だに十分でないと回答している。また、短大の教育の中で強化を望む項目では、十分でないと回答した専門知識や技術・技能と対自己基礎力の行動持続力があげられた。

(2) 就職先施設からの回答

対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力ともに 19～23 施設が職場で必要とする能

力であると回答しているが、対人基礎力の統率力について必要と回答した施設は 16 施設であった。その他の項目の専門知識と技術・技能については 1 施設があまり必要と思わないと回答していた。また、現在の職員に対する 3 つの基礎力の評価は、どの施設も十分に備わっていると回答していた。

4) 短大の教育全般(就職先施設 10 項目、卒業生 8 項目)について

卒業生からは、一般常識や教養、人間性や自己管理、接遇に関する評価は低い結果となった。就職先施設からは概ね教育は適切になされているという評価であった。

【課題】

- 1) 卒業生のアンケート回収率は 23.25%と大変低いことから回収率を上げるためには、卒業時にアンケート調査を卒後 3 年に実施することの伝達が必要となる。
- 2) 早期離職者に対する対策として、卒後 2~3 ヶ月で調査すると同時に、既卒者に対する就職相談を実施していることを卒業時に広報することで、離職後の再就職に繋げやすい。また、求人側と求職側のミスマッチを極力防ぐことが必要で、そのためには求職側の細かい情報(求人票による情報だけでなく)を収集しておくことも必要となる。
- 3) 短大での基礎教育を充実させるためには、就職先の施設での評価と卒業生による評価が大変役に立つので、十分に活用し、基礎教育の底上げに努めることが必要である。特に 3 年次に行われる臨床・臨地実習での実践教育との関連も考慮に入れて教育を組み立てることが課題といえる。
- 4) 本学では、口腔介護系のリカレント教育を実施しているが、早期離職の原因の一つに専門知識や技術・技能の不足を痛感し、退職に至る者も少なくない。そのため、卒後早期に不足と感じている内容については、再教育システムを構築する必要がある。
- 5) 短大の教育全般に関する卒業生からの評価で、一般常識や教養、人間性や自己管理能力、接遇に関する教育の充実を望む声があるが、この項目に関しては一部の特定の教職員が対応するのではなく、全ての教職員が常に同じ目線に対応することが重要となる。そのため、教職員間での学生対応を統一することが必要となる。

アンケート集計結果【卒業生対象】

福岡医療短期大学 歯科衛生学科同窓会会員（卒業生）へのアンケート

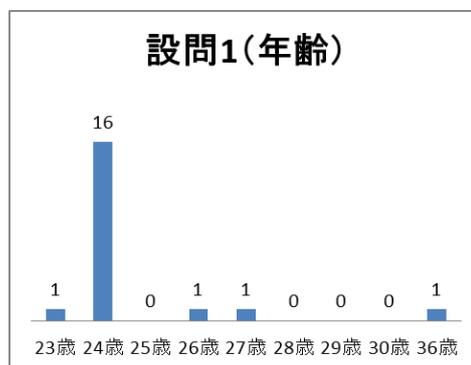
歯科衛生学科 16 期生(H26 年度卒):回答 20/86 名 2018/3/1 郵送

【回収率】23.25%

I) 就業状況について、お聞かせください。

設問 1: あなたの年齢についてお答えください。

- 女性:20/86 人
- 年齢:グラフ参照



設問 2: 現在の就職・進学先 について該当する番号に○をつけてください。

- ①一般歯科
- ②専門歯科(小児歯科・矯正歯科・口腔外科)
- ③病院歯科(リハビリテーション病院含む)
- ④大学附属病院(歯学部附属・医学部附属含む)
- ⑤企業
- ⑥福祉施設
- ⑦進学・学生(大学、短期大学、専門学校 等)
→具体的に
・回答なし。
- ⑧現在は就職・進学していない(休職中、家事手伝い、専業主婦 等)
- ⑨その他
→具体的に
・回答なし。



設問3-1: 卒業後の転職や退職について、該当する番号に○をつけてください。

[平成30年3月末(予定を含む)でお答えください]

①卒業してから現在まで

同じ勤務先(施設)で働いている。

②最初の職場を退職し、1ヶ月以内に

歯科衛生士として再就職した。

③最初の職場を退職し、1ヶ月以上

離職したが再就職した。

④最初の職場を退職し、

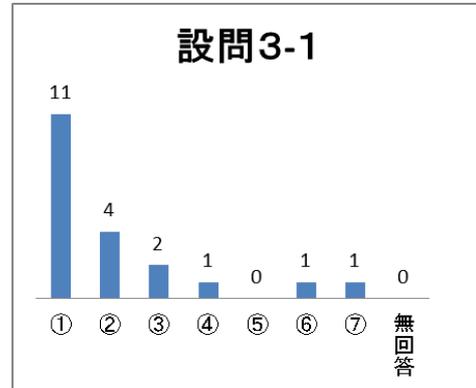
その後再就職していない。

⑤一時的に仕事に就いた。

⑥卒業してから就職していない。

⑦その他 → 具体的に

・最初の職場を退職し、1ヶ月以上離職後、パート勤務。その後妊娠で退職。



設問3-2: 「転職 経験あり」の方のみ、お答えください。

→ 転職先の職種を、具体的にお聞かせください。

- ・小児歯科から一般歯科(歯科衛生士)
- ・歯科衛生士(2票)

→ その理由は、なにでしたか? 該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

①腰痛等の「身体的・体力的」な問題

②医療・福祉領域における「精神的」な負担

③処遇などの経済的な理由

④「待遇・人間関係」などの職場内の問題

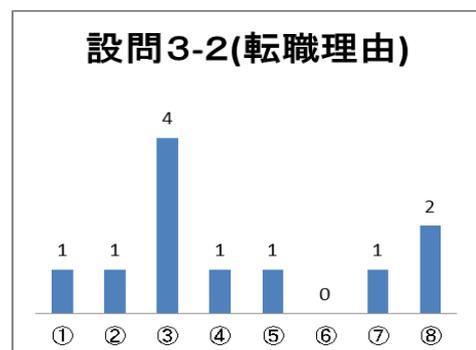
⑤他の形態の職種に興味を持ったため

⑥出産・子育て等のため

⑦その他

→具体的に

- ・地元に戻る為。
- ・引っ越しのため。

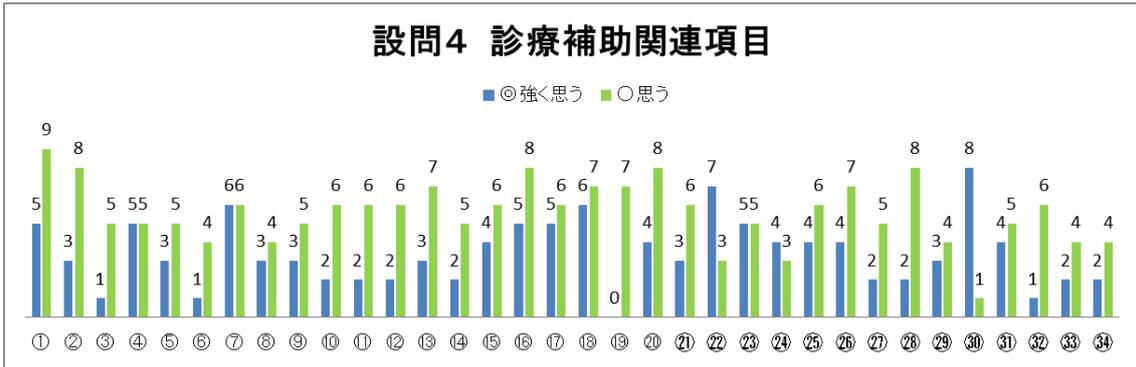


Ⅱ) 就業のための教育や能力養成について、お聞かせください。

設問4: 本学で充実すべき教育内容(専門教育)であると思われる項目について、

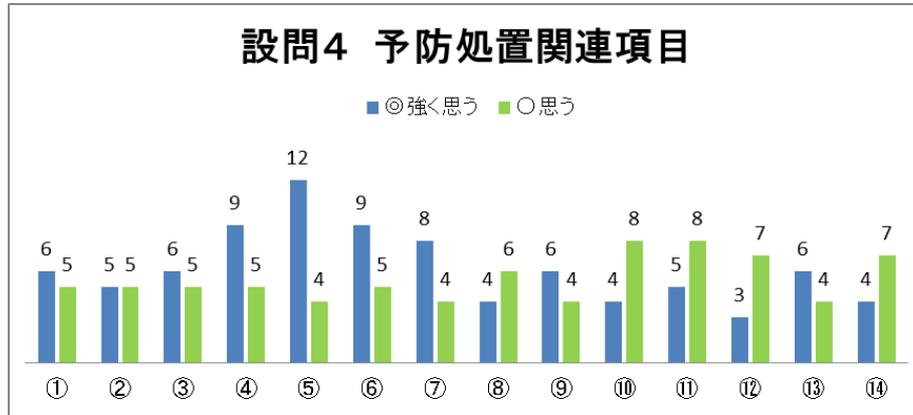
◎=強く思う、○=思う の記号をつけてください。

<診療補助関連項目>



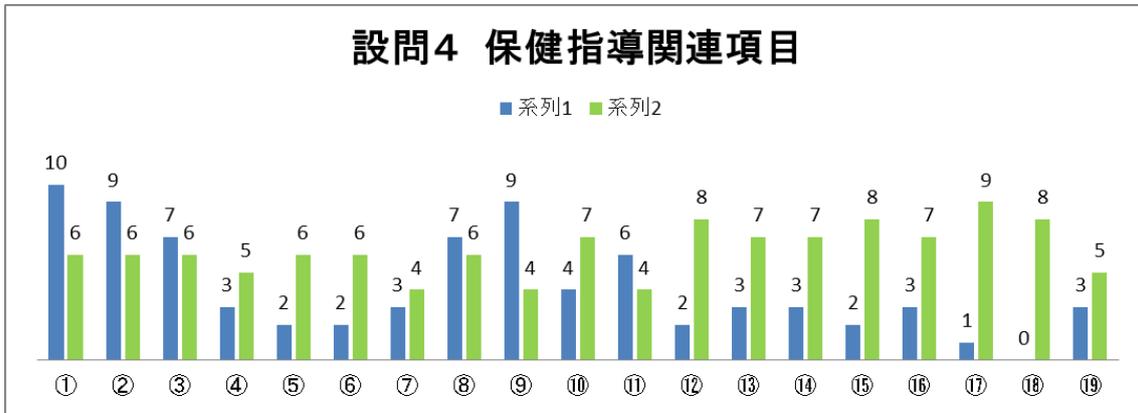
- | | |
|------------------------|-------------------|
| ①切削時のバキュームテクニック | ⑱エックス線フィルムのマウント技術 |
| ②器材の受け渡し | ⑳歯周外科手術のアシスト技術 |
| ③ラバーダム防湿 | ㉑入れ歯の研磨技術 |
| ④アルジネート印象材の取り扱い | ㉒補綴物の研磨・調整技術 |
| ⑤ゴム質(シリコン)印象材の取り扱い | ㉓暫間被覆冠の作製・調整・仮着技術 |
| ⑥スナップ印象採得 | ㉔口腔外科器具の取り扱い |
| ⑦アルジネート・寒天による連合印象採得 | ㉕抜歯処置のアシスト技術 |
| ⑧ゴム質(シリコン)印象材による精密印象採得 | ㉖インプラントに関する知識 |
| ⑨模型材(石膏)の取り扱い | ㉗インプラントに関する技術 |
| ⑩合着材・接着材の取り扱い | ㉘ホワイトニングに関する知識 |
| ⑪仮着材の取り扱い | ㉙ホワイトニングに関する技術 |
| ⑫仮封材の取り扱い | ⑳感染対策 |
| ⑬充填材の取り扱い | ㉑診療室の環境整備 |
| ⑭充填物の研磨 | ㉒血圧測定 |
| ⑮口腔内写真の撮影 | ㉓救急蘇生 |
| ⑯ブローチ綿花の作成 | ㉔AEDの取り扱い |
| ⑰口腔内のエックス線フィルムの固定 | ○その他 |
| ⑱エックス線照射口の位置決定 | →具体的に |
| | ・回答なし。 |

< 予防処置関連項目 >



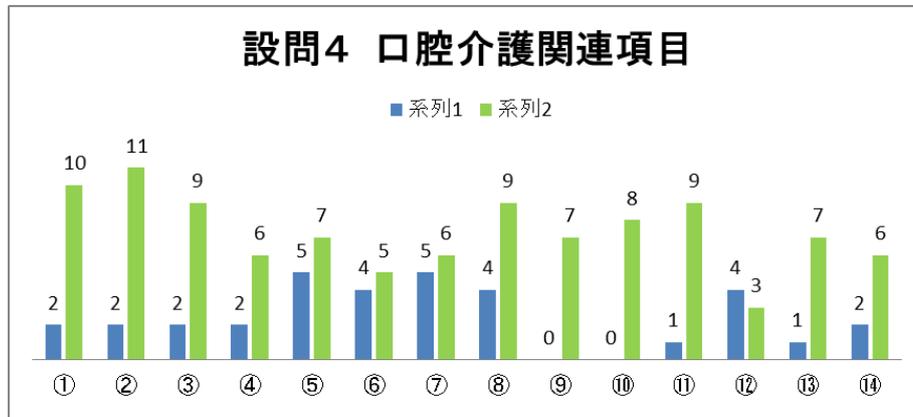
- ①フッ化物の知識
- ②フッ化物歯面塗布法
- ③シーラント
- ④スケーリング・ルートプレーニングの基礎知識
- ⑤スケーリング・ルートプレーニングの技術
- ⑥ハンドスケーラーによるスケーリング
- ⑦超音波・エアースケーラーによるスケーリング
- ⑧プロービングの知識
- ⑨プロービング技術
- ⑩スケーラーのシャープニング知識
- ⑪スケーラーのシャープニング技術
- ⑫PMTCの知識
- ⑬PMTCの技術
- ⑭研磨剤・歯磨剤の使い分け
- その他
 - 具体的に
 - ・ “予防歯科” における歯科衛生士の役割の重要性!!
 - ・ 歯磨剤の選び方について。

<保健指導関連項目>



- ①ブラッシング指導
- ②歯ブラシの選択・処方について
- ③歯磨剤の選択・処方について
- ④デンタルフロスの使い方
- ⑤歯間ブラシの使い方
- ⑥電動歯ブラシの使い方
- ⑦PCRの記録の採り方
- ⑧カウンセリング技術
- ⑨子どもとの関わり・接し方
- ⑩食事・栄養指導
- ⑪妊産婦への歯科保健指導
- ⑫小児への歯科保健指導
- ⑬保護者への歯科保健指導
- ⑭成人への歯科保健指導
- ⑮高齢者への歯科保健指導
- ⑯要介護者への歯科保健指導
- ⑰介護者・家族への歯科保健指導
- ⑱施設スタッフへの歯科保健指導
- ⑲禁煙支援
- その他
 - 具体的に
 - ・妊婦検診も行っている為。

< 口腔介護関連項目 >



- ① 摂食・嚥下機能の知識
- ② 摂食・嚥下障害の知識
- ③ 摂食・嚥下機能の評価
- ④ 食形態の知識
- ⑤ 内服薬の種類と効能に関する知識
- ⑥ 内服薬剤により発現する口腔内の異常
- ⑦ 口腔に関連する基礎疾患の知識
- ⑧ 要介護者に対する口腔ケア技術
- ⑨ 社会福祉に関する知識
- ⑩ 生活介護・身体介護に関する技術
- ⑪ 身体介護に関する技術
- ⑫ 他職種との理解と連携
- ⑬ 口腔リハビリの知識
- ⑭ 口腔機能向上支援
- その他

→具体的に

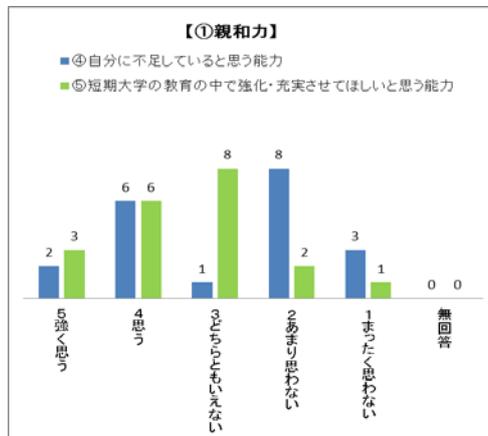
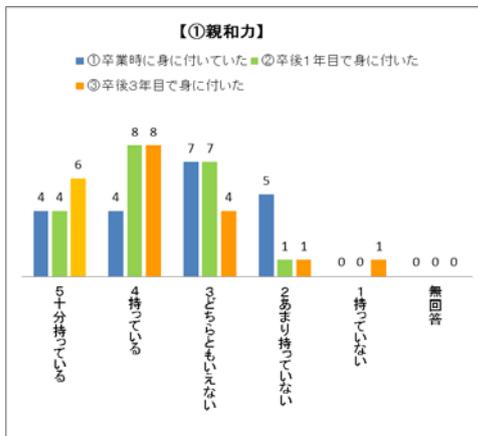
- ・居宅療養管理指導に関して、老人ホームとの間で歯科衛生士個人として契約をかわす必要があったが、歯科医がそれを知らず、もらえるはずのお金が老人ホーム側から支払われなかった。

設問6-1, 6-2: 社会人としての能力について、お聞かせください。

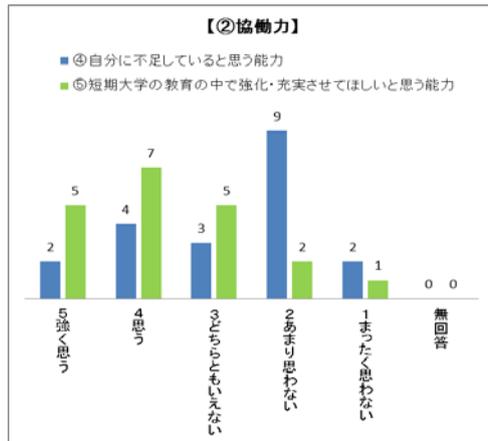
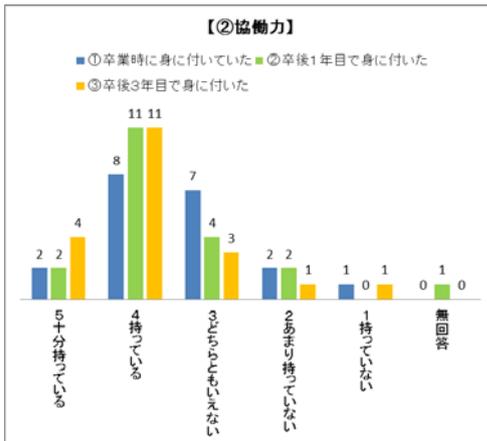
- ①卒業時に身に付いていた程度
- ②卒後1年目に身に付いていた程度
- ③卒後3年目に身に付いている程度
- ④自分に不足している能力
- ⑤短大の教育の中で強化・充実させてほしい能力

について、5段階の選択肢の中から、それぞれ○をつけてください。

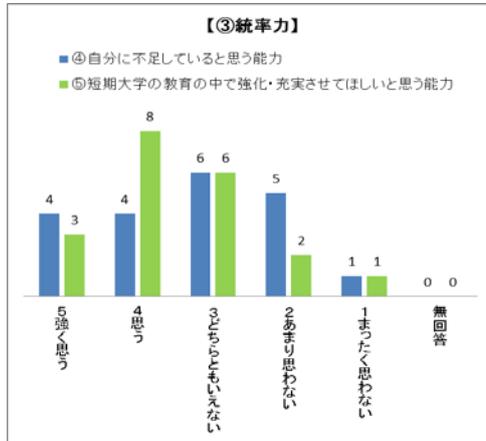
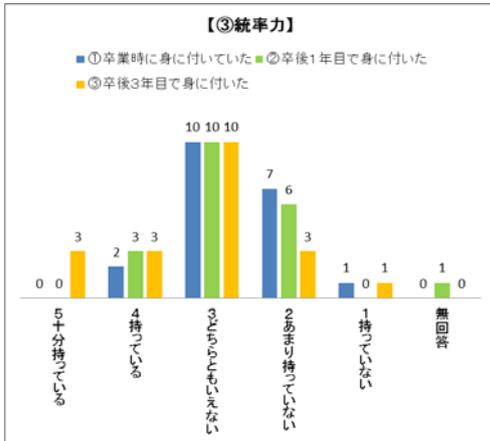
(1) 円満な人間関係を築く力〔親和力: 対人基礎力1〕



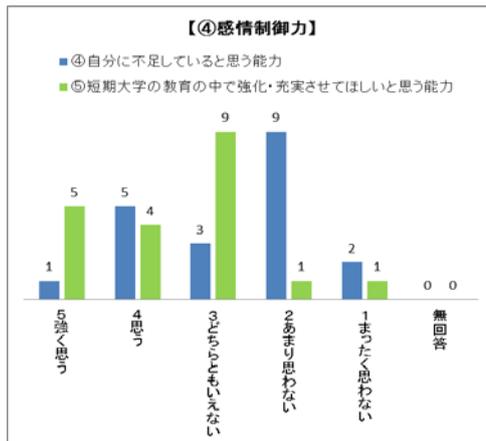
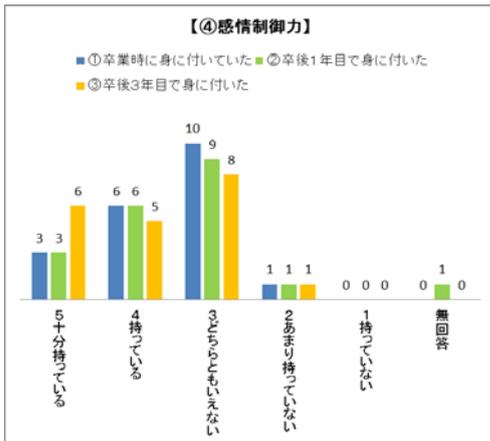
(2) 人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力: 対人基礎力2〕



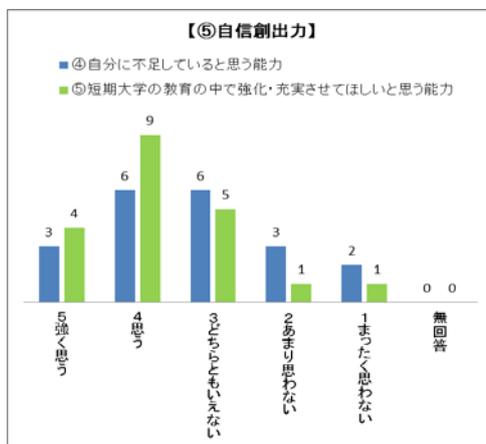
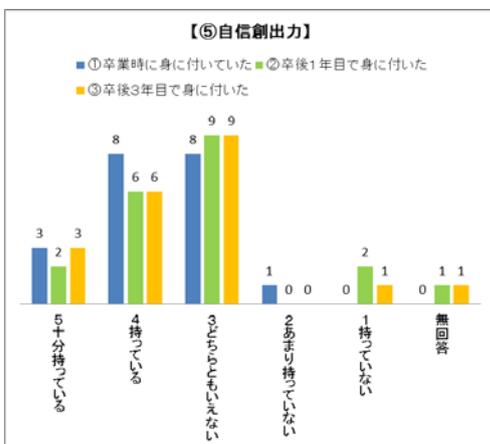
(3) 目標に向かって人や集団をひっぱる力〔統率力:対人基礎力3〕



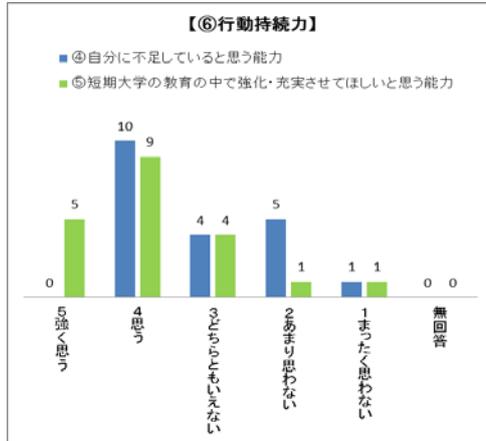
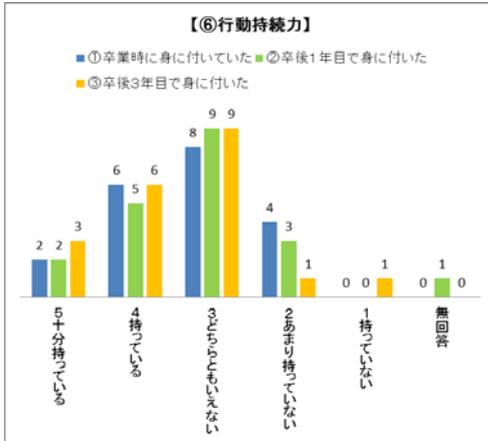
(4) 自分の感情をコントロールする力〔感情制御力:対自己基礎力1〕



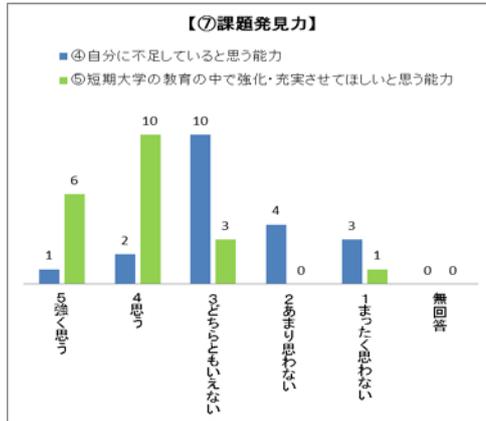
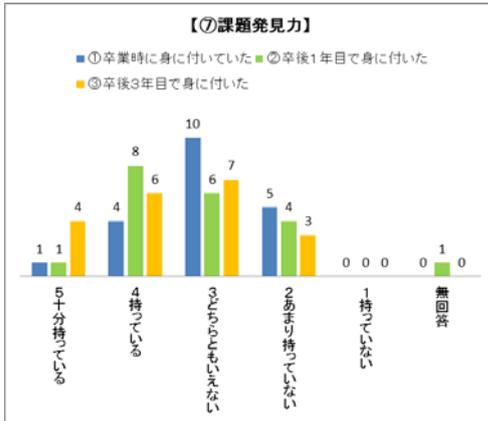
(5) やる気を維持する力〔自信創出力:対自己基礎力2〕



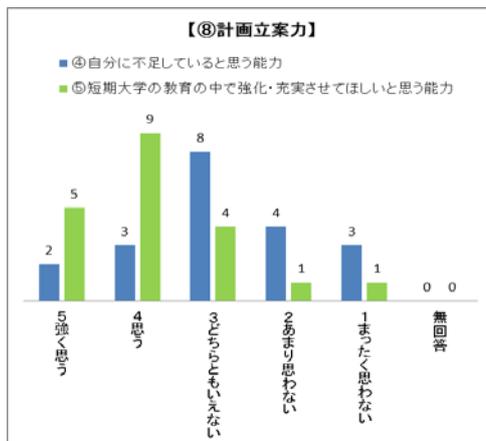
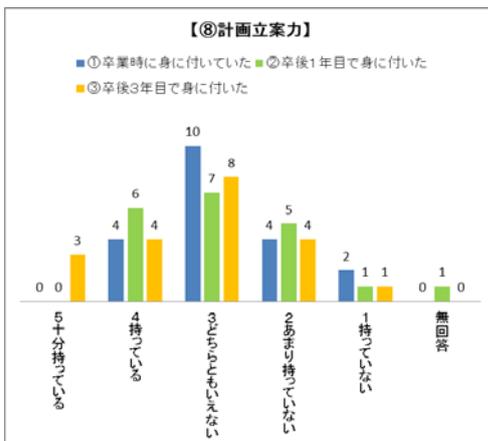
(6) 良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力:対自己基礎力3〕



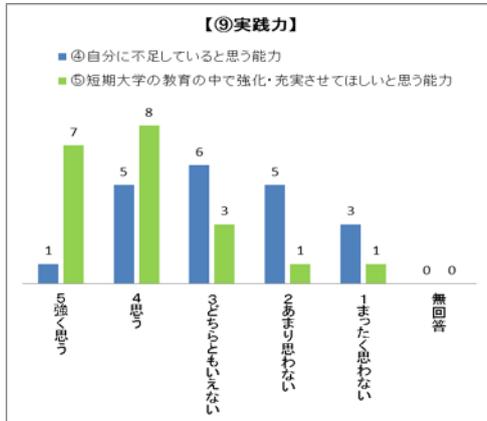
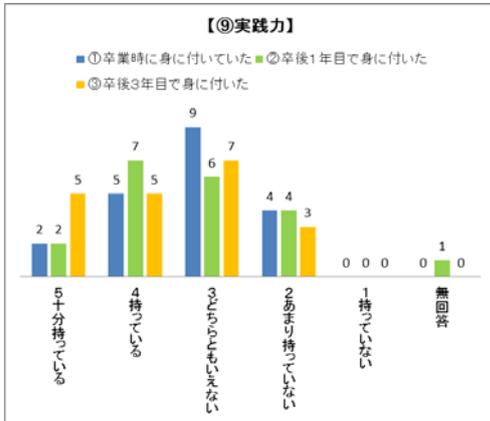
(7) 情報を収集・分析して、課題を発見する力〔課題発見力:対課題基礎力1〕



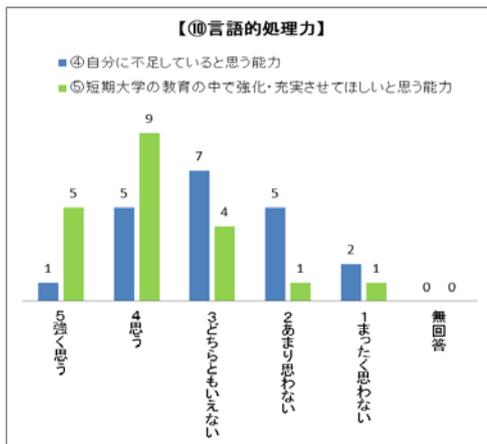
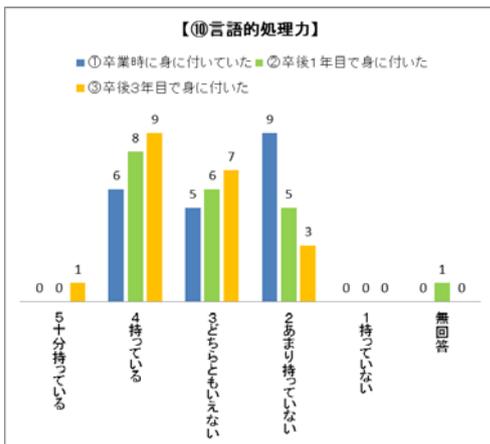
(8) 課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力:対課題基礎力2〕



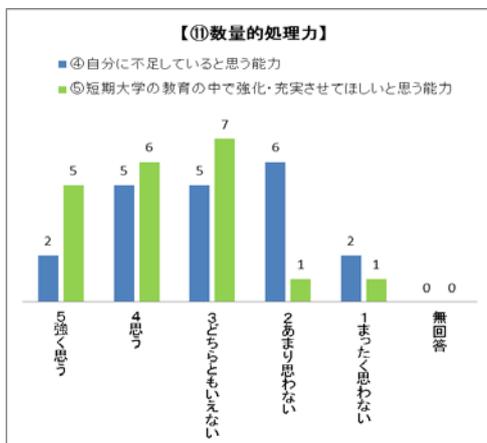
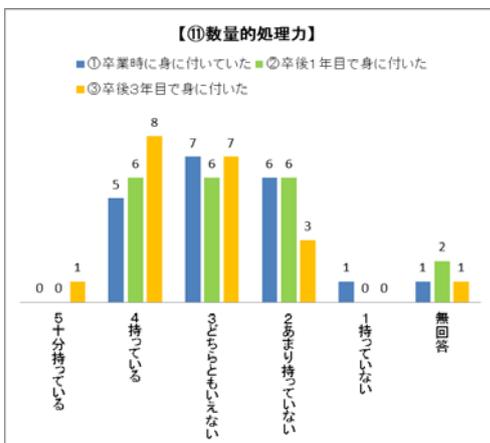
(9) 行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力:対課題基礎力3〕



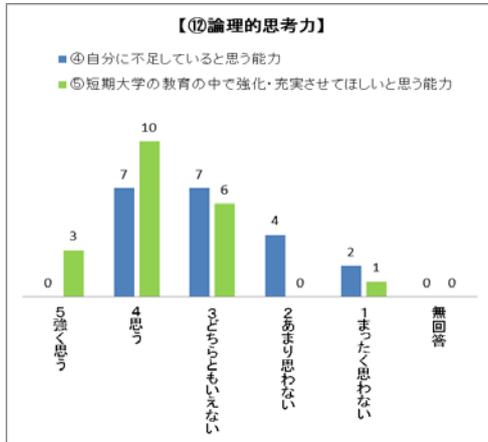
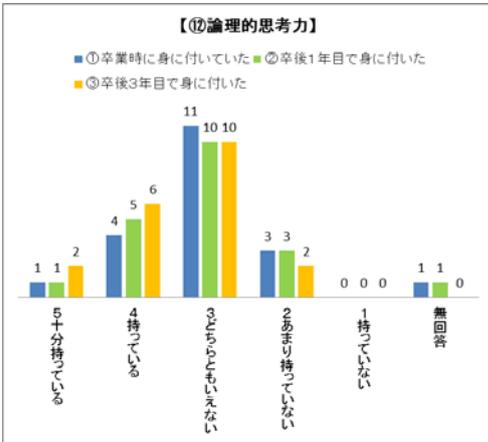
(10) 文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力:処理力1〕



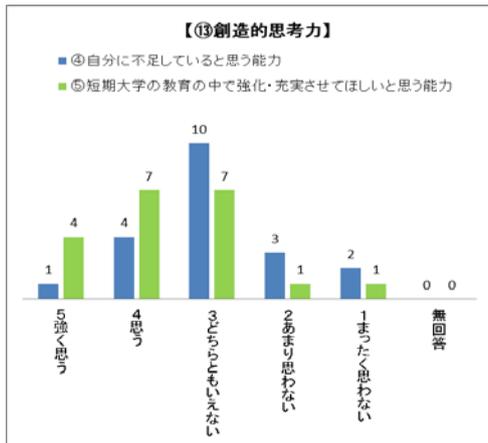
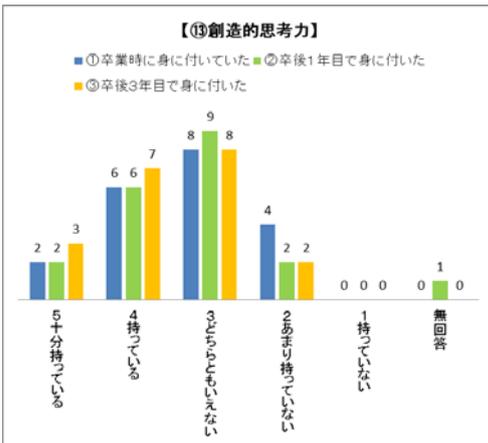
(11) データや数字をすばやく読み取る力〔数量的処理力:処理力2〕



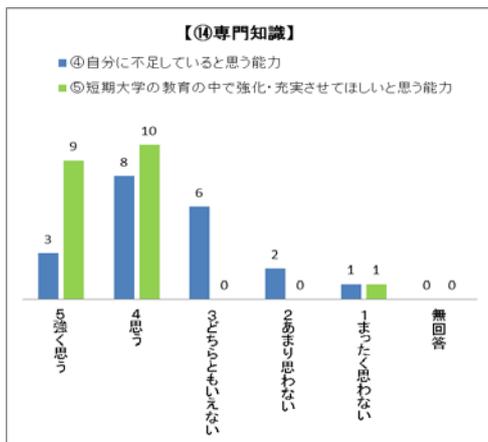
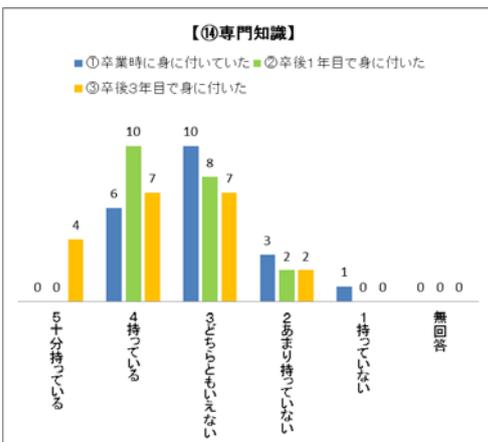
(12) 論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力:思考力1〕



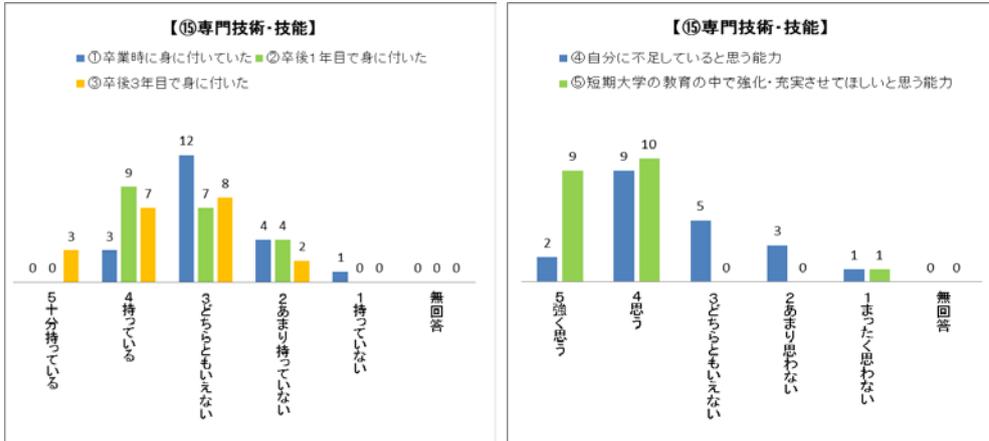
(13) 独自のものの見方や考え方をする力〔創造的思考力:思考力2〕



(14) 現在の仕事に関する専門的な知識〔専門知識:専門力1〕

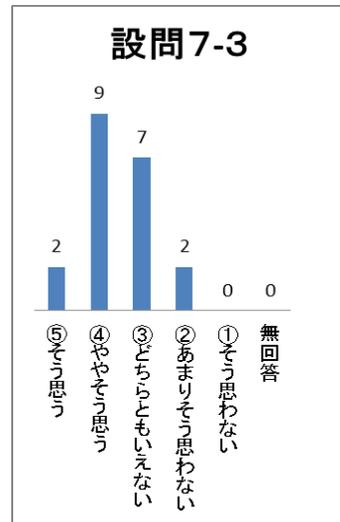
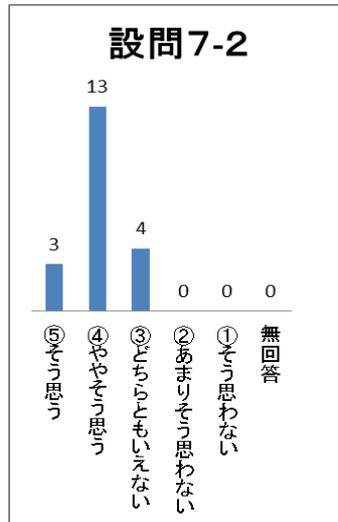
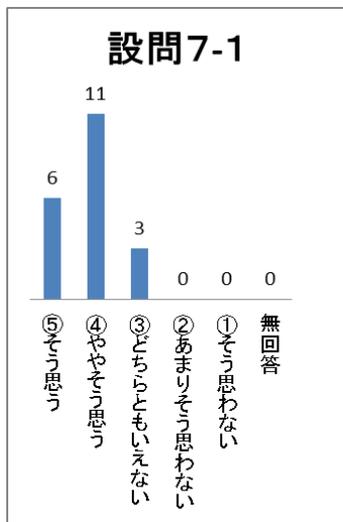


(15)現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能:専門力2〕

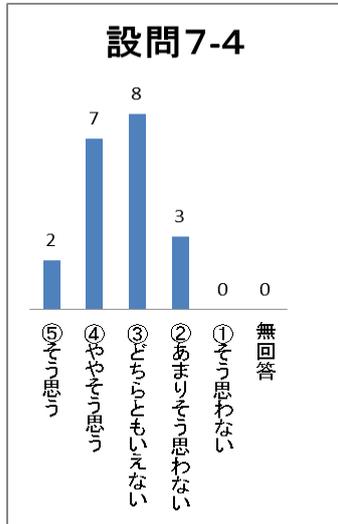


設問7: 本学での教育全般について ○をつけてください。

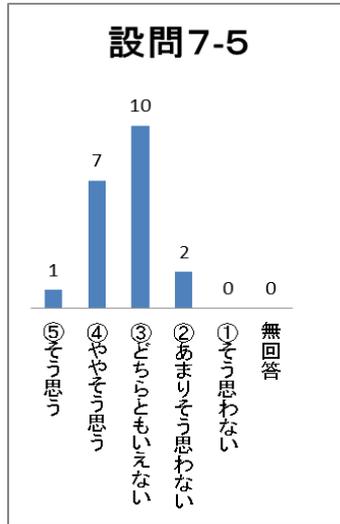
- (1)専門領域における知識面で (2)専門領域における技術面で (3)一般常識や教養が身についた。
の教育は適切であった。 の教育は適切であった。



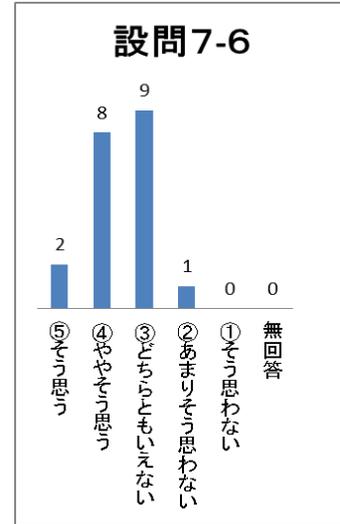
(4) 人間性の面で適切な教育がなされていた。



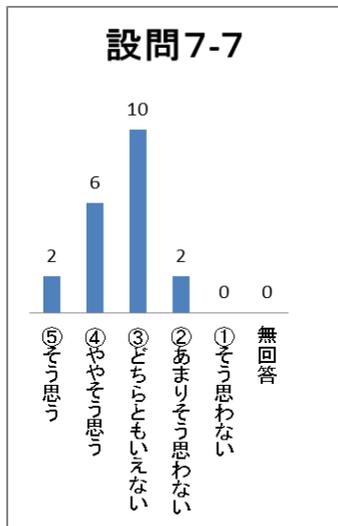
(5) 自己(健康・体調)管理についての教育が適切になされていた。



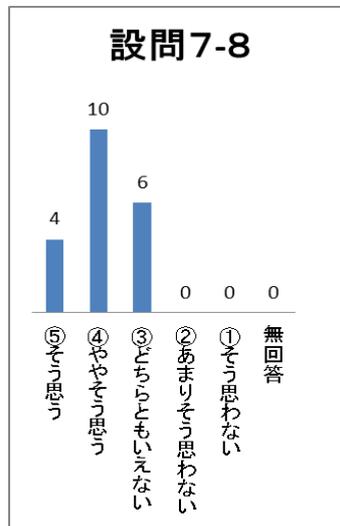
(6) コミュニケーション教育が適切になされていた。



(7) 笑顔・挨拶を含めた接遇が身についた。



(8) 短期大学での教育は、総合的に満足であった。



平成 29 年度実施 卒業生対象の追跡調査【歯科衛生学科・就職先対象】

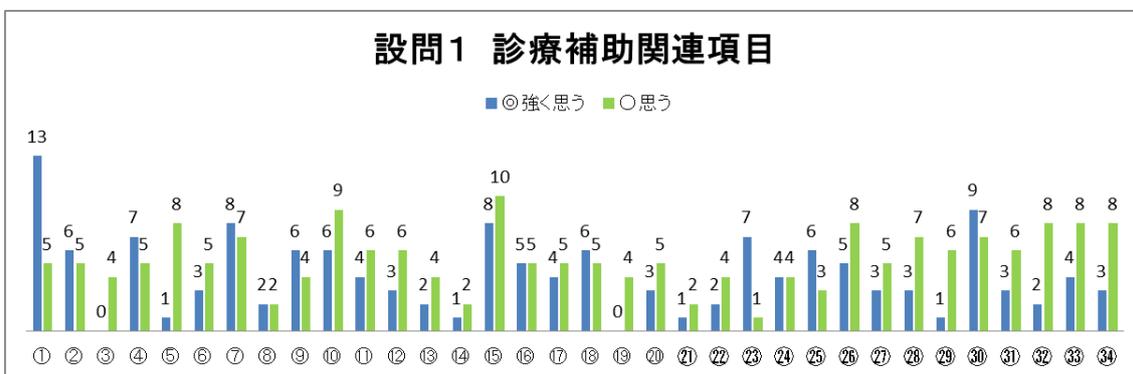
福岡医療短期大学 歯科衛生学科 卒業生に関するアンケート

歯科衛生学科 16 期生卒業生就職先施設:回答 23/52 2018/3/1 郵送

【回収率】44.23%

設問1:短期大学(本学を含む)で充実すべき教育内容(専門教育)であると思われる項目について、◎=強く思う、○=思う の記号をつけてください。

<診療補助関連項目>

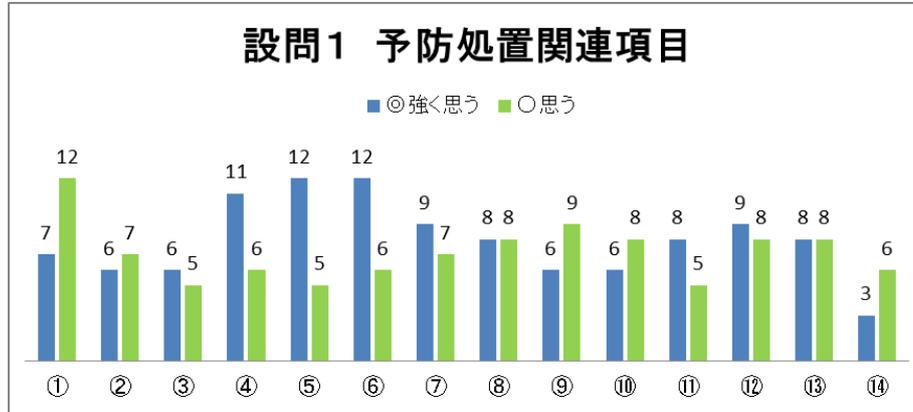


- | | |
|------------------------|-------------------|
| ①切削時のバキュームテクニック | ⑱エックス線フィルムのマウント技術 |
| ②器材の受け渡し | ⑳歯周外科手術のアシスト技術 |
| ③ラバーダム防湿 | ㉑入れ歯の研磨技術 |
| ④アルジネート印象材の取り扱い | ㉒補綴物の研磨・調整技術 |
| ⑤ゴム質(シリコン)印象材の取り扱い | ㉓暫間被覆冠の作製・調整・仮着技術 |
| ⑥スナップ印象採得 | ⑳口腔外科器具の取り扱い |
| ⑦アルジネート・寒天による連合印象採得 | ㉕抜歯処置のアシスト技術 |
| ⑧ゴム質(シリコン)印象材による精密印象採得 | ㉖インプラントに関する知識 |
| ⑨模型材(石膏)の取り扱い | ㉗インプラントに関する技術 |
| ⑩合着材・接着材の取り扱い | ㉘ホワイトニングに関する知識 |
| ⑪仮着材の取り扱い | ㉙ホワイトニングに関する技術 |
| ⑫仮封材の取り扱い | ⑳感染対策 |
| ⑬充填材の取り扱い | ㉛診療室の環境整備 |
| ⑭充填物の研磨 | ㉜血圧測定 |
| ⑮口腔内写真の撮影 | ㉝救急蘇生 |
| ⑯ブローチ綿花の作成 | ㉞AEDの取り扱い |
| ⑰口腔内のエックス線フィルムの固定 | ○その他 →具体的に |

⑱ エックス線照射口の位置決定

・回答なし。

< 予防処置関連項目 >



①フッ化物の知識

②フッ化物歯面塗布法

③シーラント

④スケーリング・ルートプレーニングの基礎知識

⑤スケーリング・ルートプレーニングの技術

⑥ハンドスケーラーによるスケーリング

⑦超音波・エアースケーラーによるスケーリング

⑧プロービングの知識

⑨プロービング技術

⑩スケーラーのシャープニング知識

⑪スケーラーのシャープニング技術

⑫PMTCの知識

⑬PMTCの技術

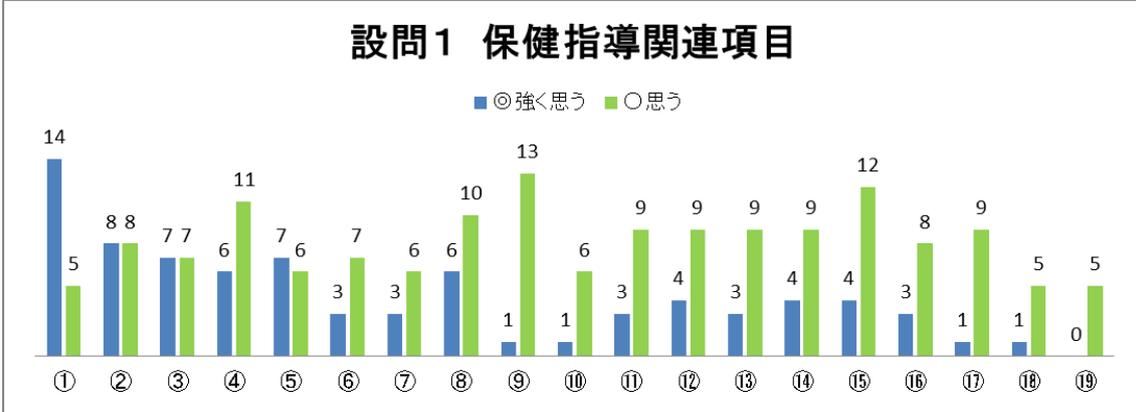
⑭研磨剤・歯磨剤の使い分け

○その他

→具体的に

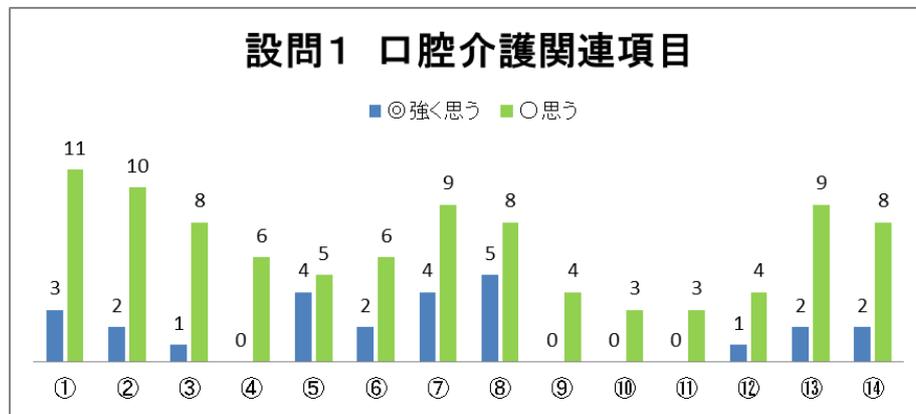
・回答なし。

<保健指導関連項目>



- ①ブラッシング指導
- ②歯ブラシの選択・処方について
- ③歯磨剤の選択・処方について
- ④デンタルフロスの使い方
- ⑤歯間ブラシの使い方
- ⑥電動歯ブラシの使い方
- ⑦PCRの記録の採り方
- ⑧カウンセリング技術
- ⑨子どもとの関わり・接し方
- ⑩食事・栄養指導
- ⑪妊産婦への歯科保健指導
- ⑫小児への歯科保健指導
- ⑬保護者への歯科保健指導
- ⑭成人への歯科保健指導
- ⑮高齢者への歯科保健指導
- ⑯要介護者への歯科保健指導
- ⑰介護者・家族への歯科保健指導
- ⑱施設スタッフへの歯科保健指導
- その他
 - 具体的に
 - ・回答なし。

< 口腔介護関連項目 >



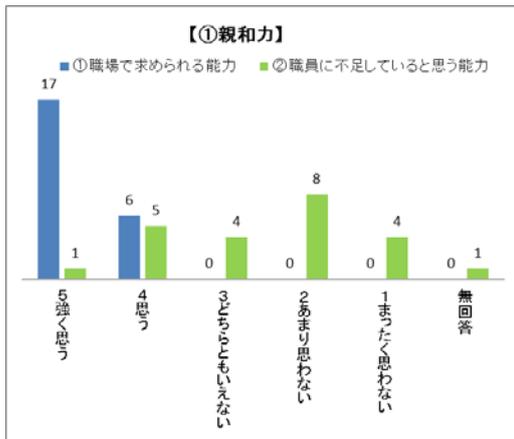
- ① 摂食・嚥下機能の知識
- ② 摂食・嚥下障害の知識
- ③ 摂食・嚥下機能の評価
- ④ 食形態の知識
- ⑤ 内服薬の種類と効能に関する知識
- ⑥ 内服薬剤により発現する口腔内の異常
- ⑦ 口腔に関連する基礎疾患の知識
- ⑧ 要介護者に対する口腔ケア技術
- ⑨ 社会福祉に関する知識
- ⑩ 生活介護・身体介護に関する技術
- ⑪ 身体介護に関する技術
- ⑫ 他職種との理解と連携
- ⑬ 口腔リハビリの知識
- ⑭ 口腔機能向上支援
- その他
 - 具体的に
 - ・ 回答なし。

設問2: 社会人としての能力について、お聞かせください。

- ① 貴施設での職務において求められる重要な能力 と
 - ② 短期大学(本学を含む)を卒業した職員に不足していると思う能力 について
- 5段階の選択肢の中から、それぞれ○をつけてください。

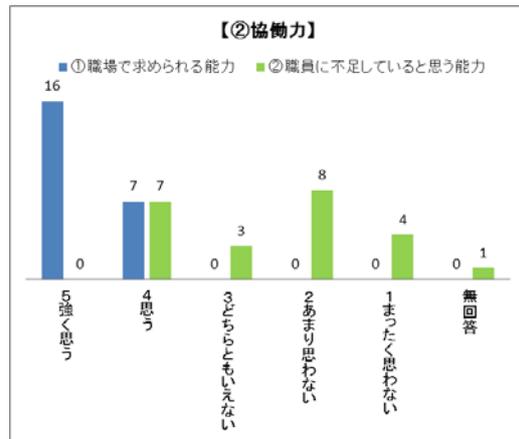
(1) 円満な人間関係を築く力

[親和力: 対人基礎力1]



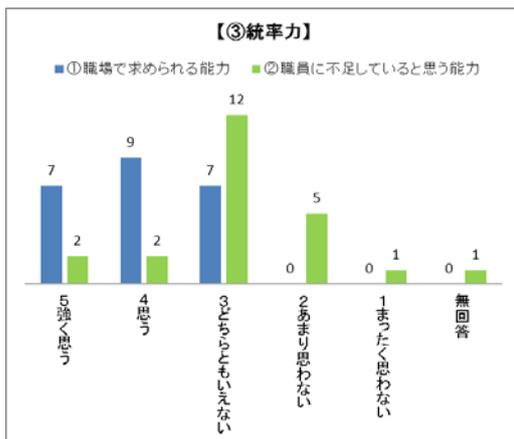
(2) 人と協力しながら物事に取り組む力

[協働力: 対人基礎力2]



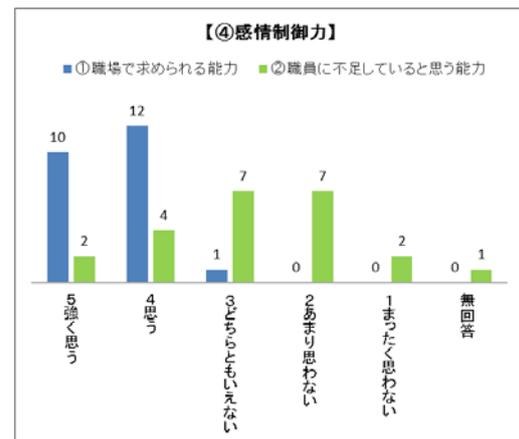
(3) 目標に向かって人や集団をひっぱる力

[統率力: 対人基礎力3]



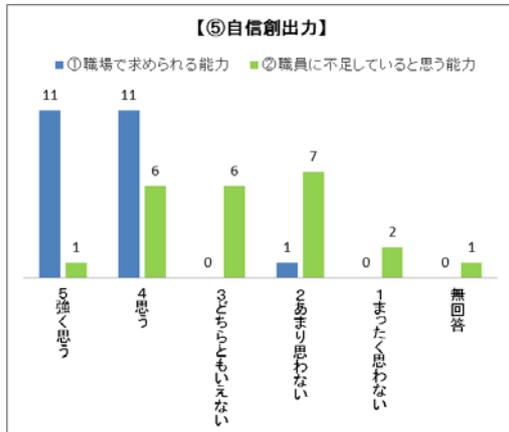
(4) 自分の感情をコントロールする力

[感情制御力: 対自己基礎力1]



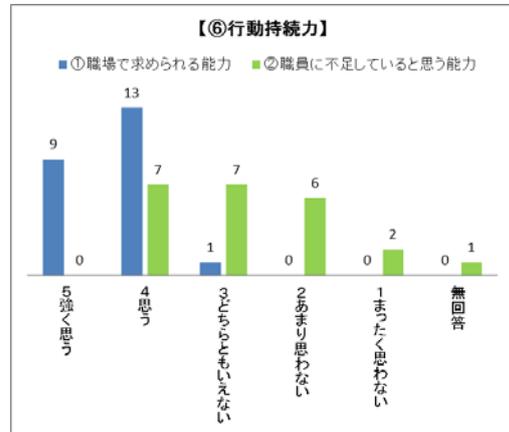
(5) やる気を維持する力

[自信創出力: 対自己基礎力2]



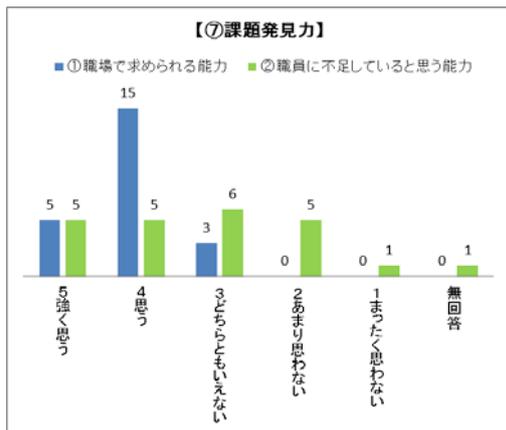
(6) 良い行動を習慣として続けられる力

[行動持続力: 対自己基礎力3]



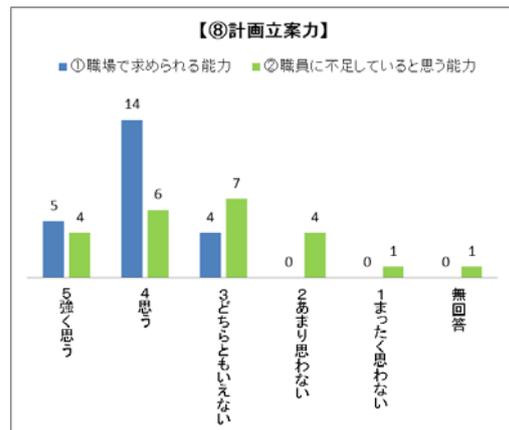
(7) 情報を収集・分析して、課題を発見する力

[課題発見力: 対課題基礎力1]



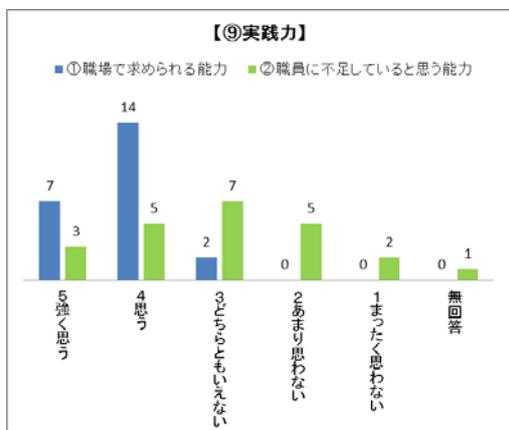
(8) 課題解決のための計画を立案する力

[計画立案力: 対課題基礎力2]



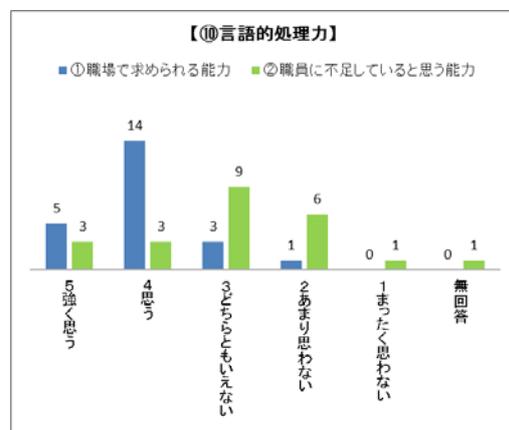
(9) 行動を起こし、最後までやりきる力

[実践力: 対課題基礎力3]



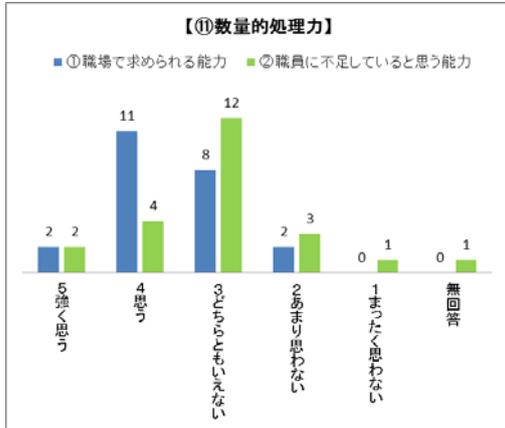
(10) 文章の構成や要旨を的確に理解する力

[言語的処理力: 処理力1]



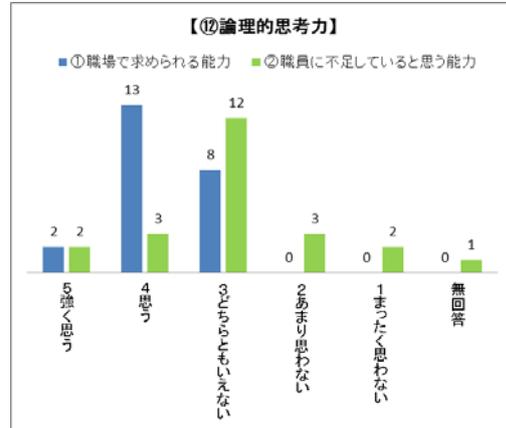
(11) データや数字をすばやく読み取る力

[数量的処理力:処理力2]



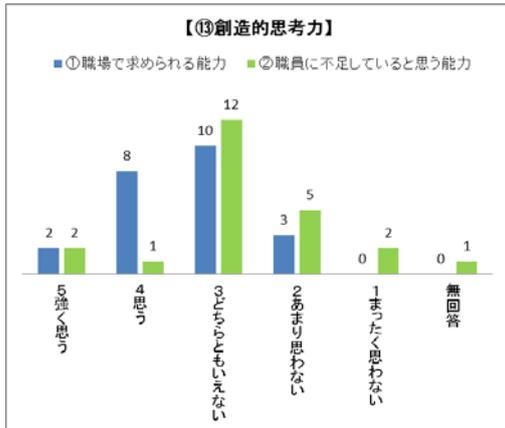
(12) 論理的に物事を分析・構築する力

[論理的思考力:思考力1]



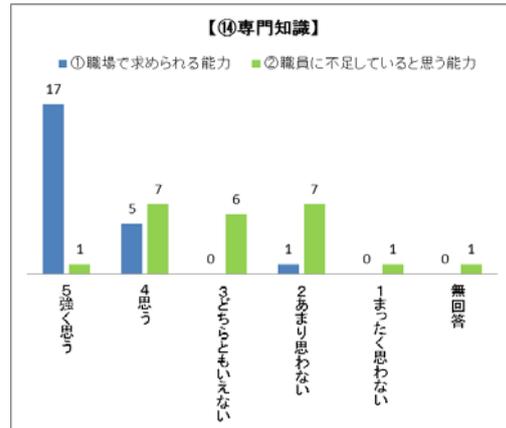
(13) 独自のものの見方や考え方をする力

[創造的思考力:思考力2]



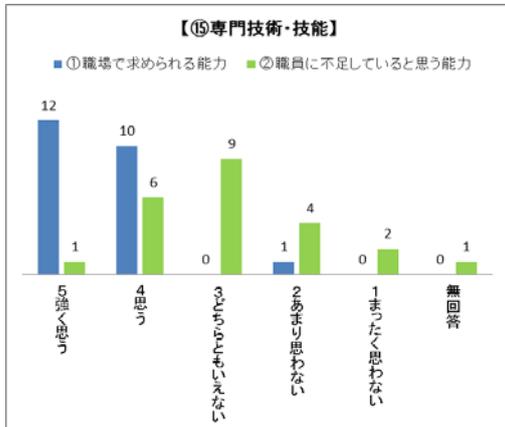
(14) 現在の仕事に関する専門的な知識

[専門知識:専門力1]



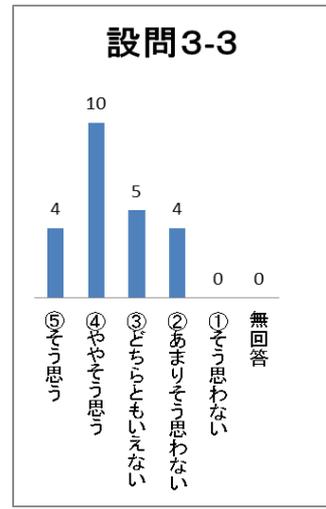
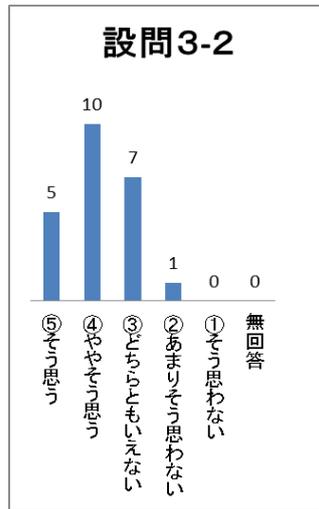
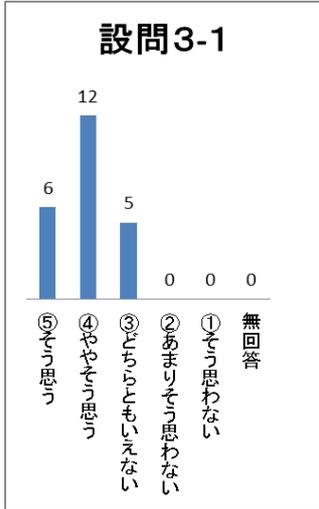
(15) 現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ

[専門技術・技能:専門力2]

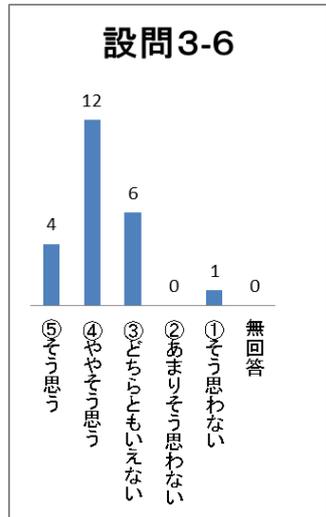
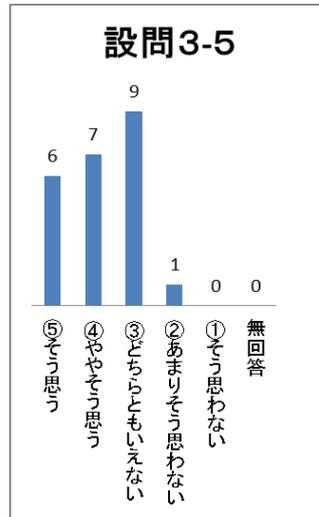
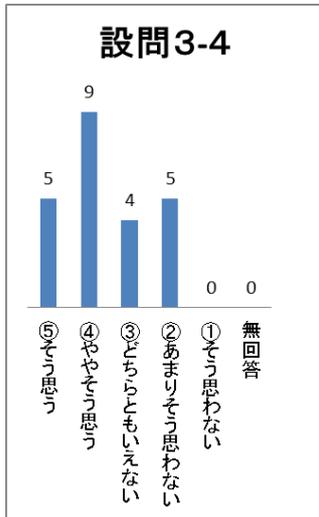


設問3: 本学での教育全般について ○をつけてください。

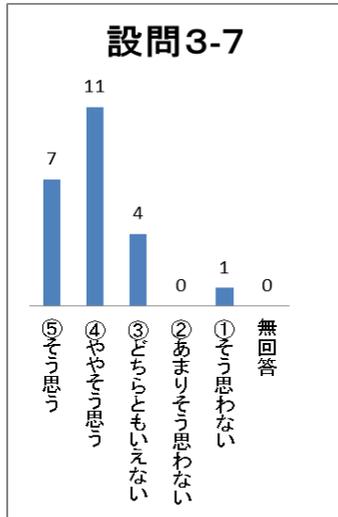
- (1) 専門領域における知識面で (2) 専門領域における技術面で (3) 一般常識や教養が身につく教育は適切である。 の教育は適切である。 いている。



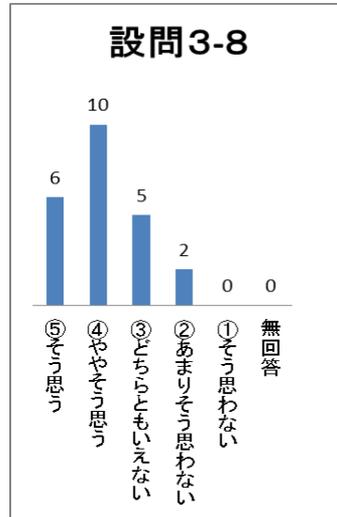
- (4) 人間性の面で適切な教育が (5) 自己(健康・体調)管理につ (6) コミュニケーション教育が適切になされている。 いての教育が適切になされ 切になされている。 ている。



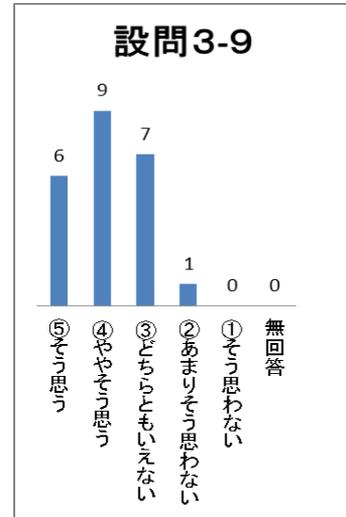
(7)笑顔・挨拶を含めた接遇が
身についている。



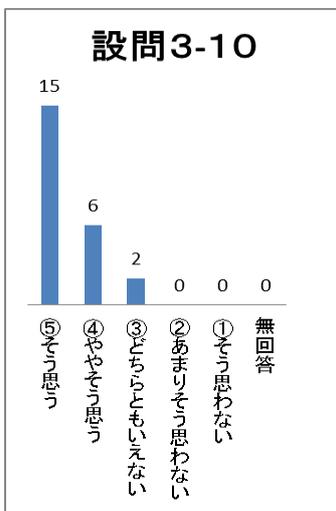
(8)短大で身につけた能力を
揮っている。



(9)短期大学での教育は、
総合的に満足である。



(10)今後も本学(短期大学)の卒
業生を採用したいと思う。



平成 29 年度実施 卒業生対象の追跡調査【保健福祉学科】

【全体概要】

- 1) 保健福祉学科 14 期生（平成 26 年度卒業）への卒業 3 年目アンケートと同 16 期生（平成 28 年度卒業）への卒業 1 年目アンケートの回収率は、それぞれ 46.8%（15/32 名）と 39.2%（11/28 名）であった。14 期生、16 期生共に、現在の主な就職先は、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、障がい者関係施設、通所施設であり、ほとんどが介護福祉士として雇用されている。14 期生については、回答者の 3 分の 1 が責任者や指導者をしている。
- 2) 本学で充実すべき教育内容（科目）について、14 期生では「③社会の理解（介護保険制度や障害者総合支援法など）」や「②医療的ケアの基礎知識（たんの吸引や胃瘻の管理など）」の科目が「強く思う」の割合が高かったが、16 期生では「⑤コミュニケーション技術（介護現場における利用者・家族とのコミュニケーション）」や「⑥コミュニケーション技術（介護におけるチームのコミュニケーションや多職種連携）」、「⑬介護実習」「⑰認知症の理解」の割合が高かった。
- 3) 社会人としての能力について、14 期生の「自分に不足していると思う能力」の割合は全体的に低かったが、16 期生は統率力が不足していると回答した者が半数以上いた。短期大学の教育の中で強化・充実させて欲しいものについて、14 期生はすべての能力で「強く思う」「思う」と回答した者の割合が高かったが、16 期生は⑩言語的処理力、⑪数量的処理力、⑫論理的処理力、⑬創造的処理力について低値の傾向にあった。
- 4) 本学での教育全般については、14 期生は肯定的回答の割合が高く、短期大学での教育は総合的に満足であったと回答した者が 86.6%であり、16 期生は専門教育以外の一般常識や自己管理教育等についてどちらでもないと回答した者の割合が高く、総合的な満足度は 72.7%となっている。
- 5) 14 期生、16 期生の就職先アンケートの回収率は、それぞれ 57.1%（12/21 件）、57.8%（11/19 件）であった。短期大学で充実すべき教育内容（科目）については、両者共にコミュニケーションに関連する科目の割合が高かった。社会人として職場で求められる能力について、14 期生の就職先はすべての能力を必要とする割合が高かったが、16 期生の就職先は数量的処理力や論理的思考力、創造的思考力が低値の傾向にあった。
- 6) 就職先からの本学の教育全般についての評価は、専門的な知識や技術は身に付いていると感じているが、一般常識や自己管理教育、コミュニケーション教育等については身に付いたという回答の割合が低くなっており、本学の教育に対する総合的な満足度は 14 期生の就職先が 50%、16 期生の就職先が 63.6%となっている。

【課題】

- 1) 卒業生へのアンケートは、卒業生の現在の就業状況（キャリアアップ）を把握すると同時に、本学の教育効果を検証することで今後の教育改善につなげる役割もあるが、まず回収率が低いことが課題として挙げられる。これまでも、アンケート用紙に助言教員が手書きのコメントを付して同封するなど、卒業生が少しでも興味を持ってもらうような働きかけを行ってはいるが十分な対策とはなっていない。今後は、同窓会との連携強化やリカレント教育の場の提供など、卒業後も大学に足を運んでもらう機会を増やすことで卒業生とのつながりを作っていく。
- 2) 本学で充実すべき教育内容（科目）や社会人としての能力について、卒業年次の違いによって回答に差が生じている点は、1年目の新人の時に必要と感じる教育や能力と3年間の現場経験を積むことで必要と感じる教育や能力が異なってくるためと考えられる。卒後1年目の16期生が必要とするコミュニケーションに関する教育の充実は、就職先が大学に求めている教育内容と重なる部分であり、自由記述の採用選考のポイントや学生に求める資質・能力にも「コミュニケーション能力に問題がないこと」「コミュニケーションが円滑にできること」「コミュニケーションスキルがあること」等の声が多く挙げられている。

また、就職先の本学の教育全般についての評価においても、コミュニケーション教育が身に付いたという回答の割合が低いことから、コミュニケーション教育を見直す必要があると考える。専門教育としてのコミュニケーションはもちろん、「施設以外でのコミュニケーションや社会人としての教養を教えるような、職場での実習を実施されることを望みます」との意見にあるようなジェネリックスキルとしてのコミュニケーション教育の取組を検討したい。

アンケート集計結果【卒業生対象】

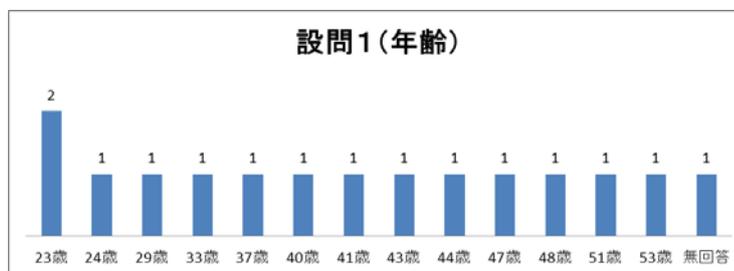
福岡医療短期大学 保健福祉学科同窓会会員(卒業生)へのアンケートのお願い

保健福祉学科 14期生(H26年度卒):回答 15/32名【男性4名、女性11名】2018.2.16 郵送

I) 就業状況について、お聞かせください。

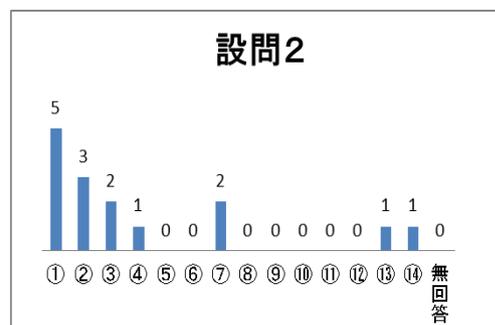
設問1: あなたの性別・年齢についてお答えください。

- 男性:4/15人
- 女性:11/17人
- 年齢:グラフ参照



設問2: 現在の就職・進学先 について該当する番号に○をつけてください。

- ①介護老人福祉施設
(特別養護老人ホーム)
- ②介護老人保健施設
- ③障がい者関係施設
(身体・知的・精神・重症心身)
- ④医療機関
- ⑤グループホーム・小規模多機能型施設
- ⑥有料老人ホーム
- ⑦通所施設(デイケア、デイサービス)
- ⑧訪問介護
- ⑨居宅介護支援事業所
- ⑩その他の社会福祉領域(公務員等としての福祉業務)
→具体的に(回答なし)
- ⑪社会福祉領域以外の職種(福祉領域以外での就職)
→具体的に(回答なし)

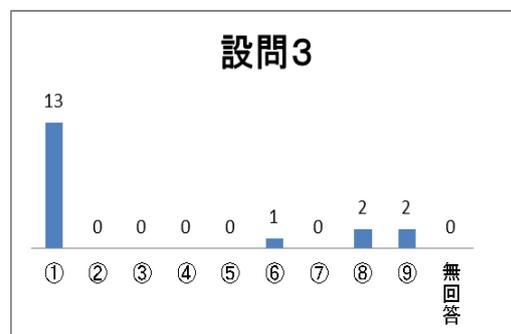


- ⑫進学・学生(大学、短期大学、専門学校 等)
→具体的に(回答なし)
- ⑬現在は就職・進学していない(休職中、家事手伝い、専業主婦 等)
- ⑭その他
→具体的に
・介護以外の仕事。

設問3: 現在の職場 において活用している資格について、
該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

- ①介護福祉士
- ②ケア・マネジャー
- ③社会福祉士
- ④看護師
- ⑤理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
- ⑥社会福祉主事任用資格
- ⑦認知症ケア専門士
- ⑧なし(他業種での就業時 等)
- ⑨その他

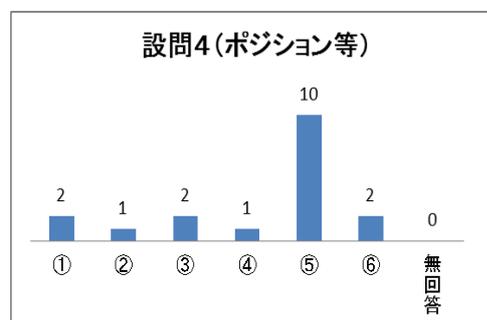
- 具体的に
・H30年2月に社会福祉士を受験。
・認知症実践者。



設問4: 現在の職場 におけるポジション(役職を含めて)と雇用形態について、
該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

■ ポジション(役職等)について

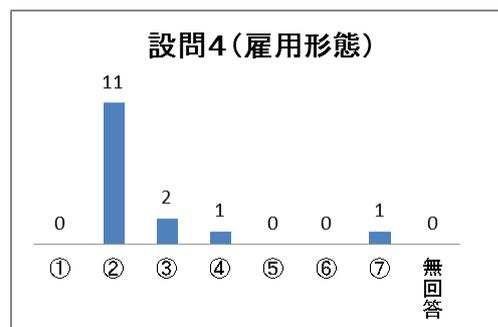
- ①職場の長・責任者
- ②主任、フロア・リーダー等の役職
→具体的に
・デイサービスリーダー。
- ③実習学生、新人の指導者
→具体的に



- ・持ちまわりでの担当。
- ・新卒で入職した新人の指導、1年間。
- ④相談員等の相談業務
 - 具体的に
 - ・相談支援と兼務。
- ⑤特に役職・肩書きなし
- ⑥その他のポジション
 - 具体的に
 - ・事務。
 - ・退職。

■雇用形態について

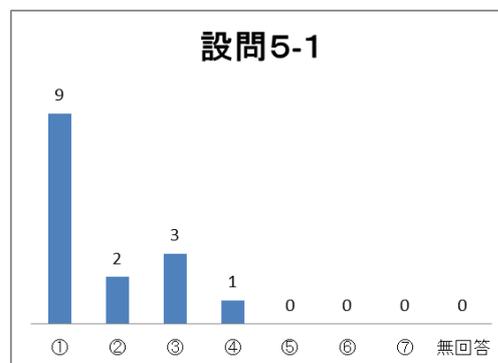
- ①経営者・自営(共同経営、共同出資)
- ②正規職員・社員(正規雇用)
- ③嘱託職員(期限限定の雇用)
 - 雇用年限
 - ・5年間 1票
 - ・1年間 1票
- ④非常勤(パートタイマー)
- ⑤契約社員・職員、派遣社員に準ずる
 - 契約形態
- ⑥進学・学生(大学、短期大学、専門学校 等)
- ⑦就職・進学していない(休職中、家事手伝い、専業主婦 等)



設問5-1: 卒業後の転職や退職について、該当する番号に○をつけてください。

[平成30年3月末(予定を含む)でお答えください]

- ①卒業してから現在まで
 - 同じ勤務先(施設)で働いている
- ②最初の職場を退職したが、
 - 1ヶ月以内に介護福祉士として
 - 再就職した
- ③最初の職場を退職し、



- 1ヶ月以上離職したが再就職した
- ④最初の職場を退職し、
その後再就職していない
 - ⑤一時的に仕事に就いた
 - ⑥卒業してから就職していない
 - ⑦その他
→具体的に
・現在育児休業中。

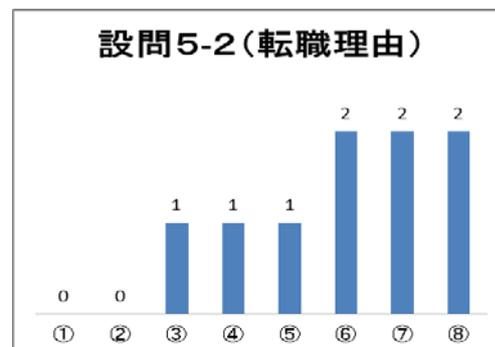
設問5-2:「転職 経験あり」の方のみ、お答えください:

→ 転職先の職種を、具体的にお聞かせください。

- ・障がい者施設から介護老人福祉施設へ
- ・障がい者支援施設(事務)
- ・老健にて介護福祉士

→ その理由は、なにでしたか？該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

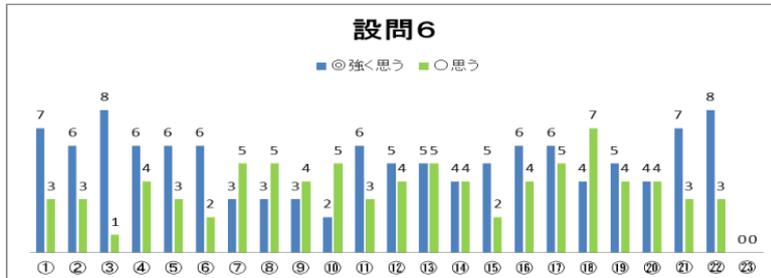
- ①腰痛等の「身体的・体力的」な問題
- ②医療・福祉領域における
「精神的」な負担
- ③介護福祉士としての
キャリアアップのため
- ④給与などの経済的な理由
- ⑤「人間関係・待遇」などの職場内の問題
- ⑥他の職種に興味を持ったため
- ⑦出産・子育て等のため
- ⑧その他
→具体的に
・スカウトされた。
・上司からの精神的苦痛(パワハラとも言える)。



II) 就業のための教育や能力養成について、お聞かせください。

設問6: 本学で充実すべき教育内容(専門教育)であると思われる項目について、

◎=強く思う、○=思う の記号をつけてください。



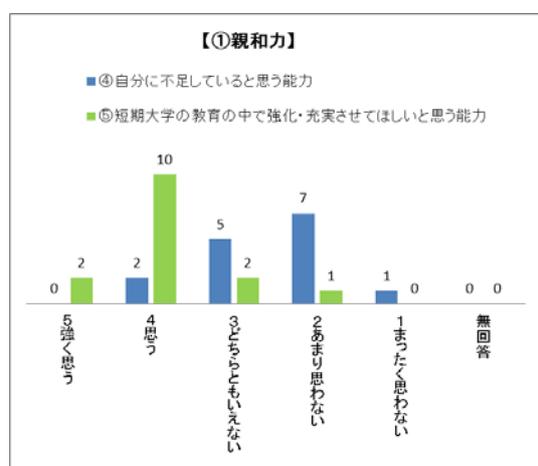
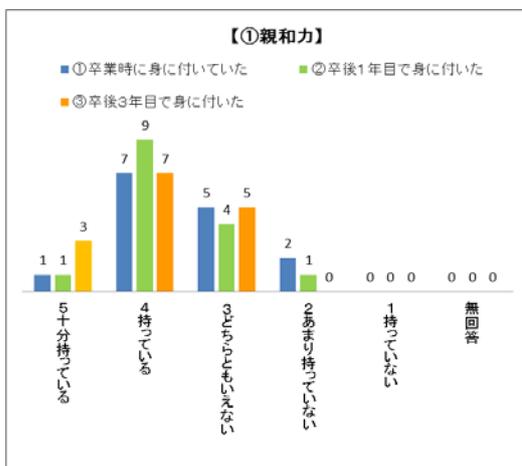
- 1 人間の尊厳と自立(「人間」の多面的理解や人権尊重など)
- 2 人間関係とコミュニケーション(対人関係や受容・共感・傾聴など)
- 3 社会の理解(介護保険制度や障害者総合支援法など)
- 4 介護の基本(介護福祉士の役割や介護を必要とする人の理解など)
- 5 コミュニケーション技術①(介護現場における利用者・家族とのコミュニケーション)
- 6 コミュニケーション技術②(介護におけるチームのコミュニケーションや多職種連携)
- 7 コミュニケーション技術③(上司・同僚とのコミュニケーションや業務のコーディネート技術)
- 8 生活支援技術①(自立に向けた居住環境の整備など)
- 9 生活支援技術②(自立に向けた形態別介護技術)
- 10 生活支援技術③(自立に向けた家事など)
- 11 生活支援技術④(終末期の介護やグリーフケアなど)
- 12 介護過程①(介護過程の意義や展開など)
- 13 介護過程②(介護過程とチームアプローチなど)
- 14 介護総合演習(事例検討・演習の充実など)
- 15 介護実習(介護福祉施設実習や居宅介護実習など)
- 16 発達と老化の理解(老化に伴うこころとからだの変化や生活上の留意点)
- 17 認知症の理解(認知症に伴うこころとからだの変化や家族への支援など)
- 18 障害の理解(医学的側面の基礎的知識やチームアプローチなど)
- 19 こころとからだのしくみ①(人体の構造・機能や介護サービス提供時の留意点など)
- 20 こころとからだのしくみ②(心理的側面への配慮についてなど)
- 21 口腔ケアの基礎知識
- 22 医療的ケアの基礎知識(たんの吸引や胃瘻の管理など)
- 23 その他 () → 回答なし。

設問8: 社会人としての能力について、お聞かせください。

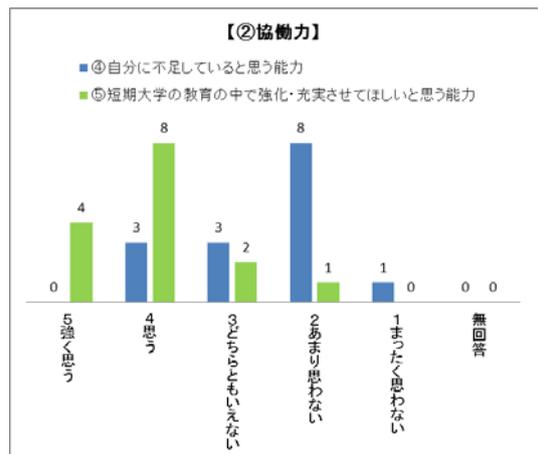
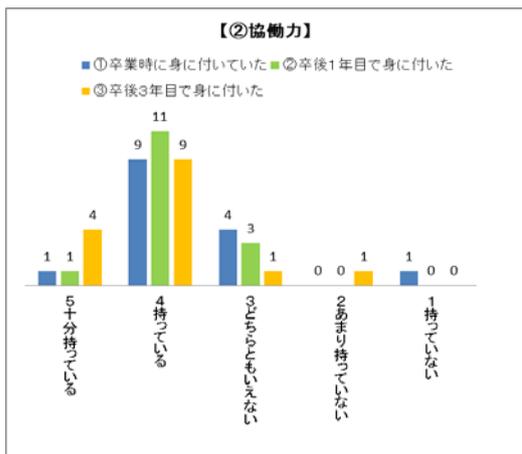
- ①卒業時に身に付けていた程度
- ②卒業後1年目に身に付いていた程度
- ③卒業後3年目に身に付いている程度
- ④自分に不足していると思う能力
- ⑤短期大学の教育の中で強化・充実させてほしいと思う能力

について、5段階の選択肢の中から、それぞれ○をつけてください。

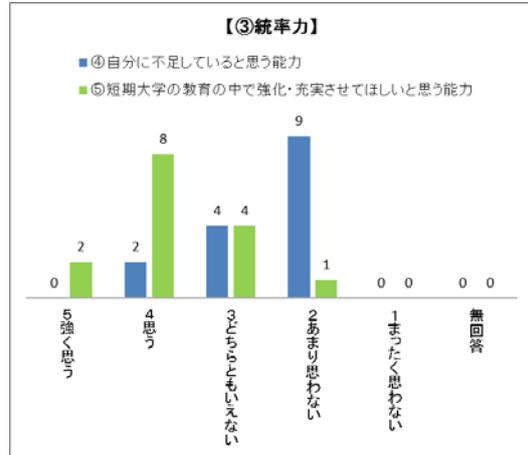
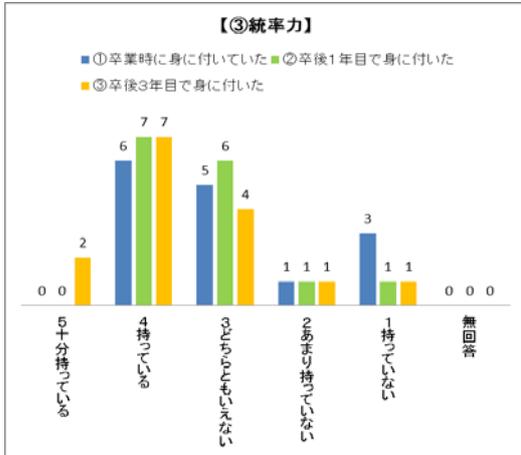
(1) 円満な人間関係を築く力〔親和力: 対人基礎力1〕



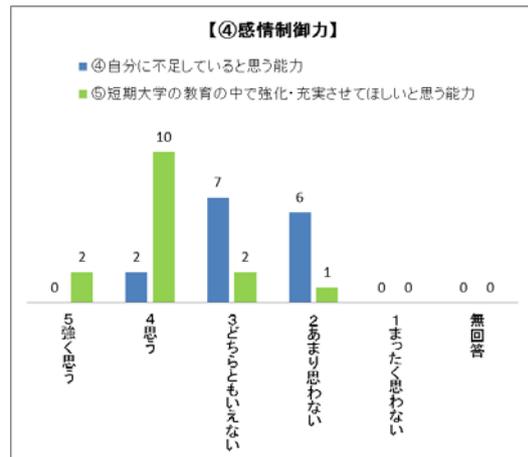
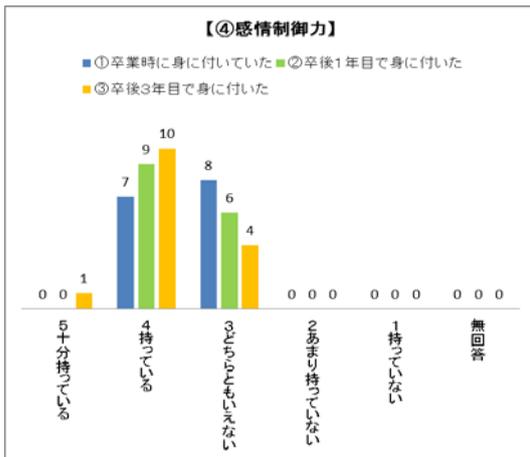
(2) 人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力: 対人基礎力2〕



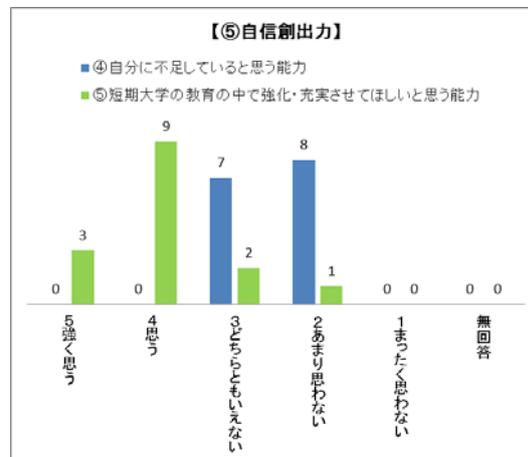
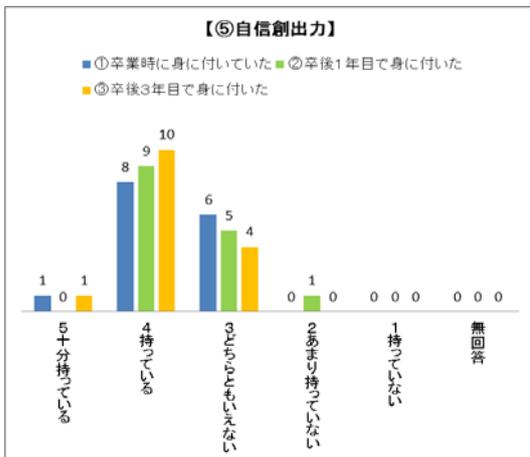
(3) 目標に向かって人や集団をひっぱる力〔統率力:対人基礎力3〕



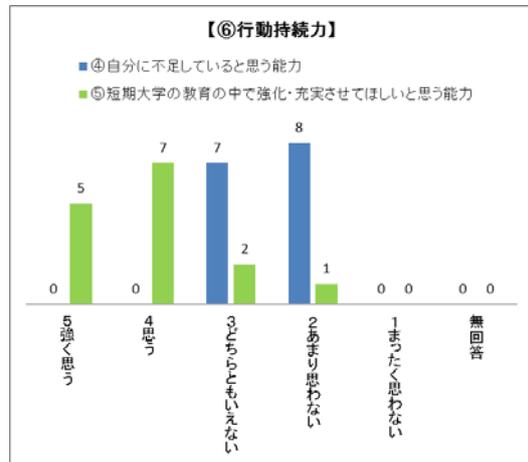
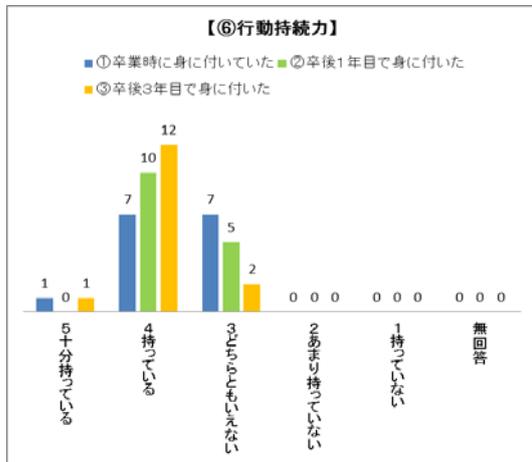
(4) 自分の感情をコントロールする力〔感情制御力:対自己基礎力1〕



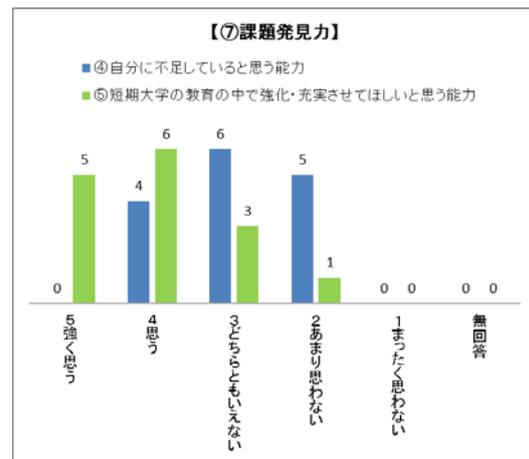
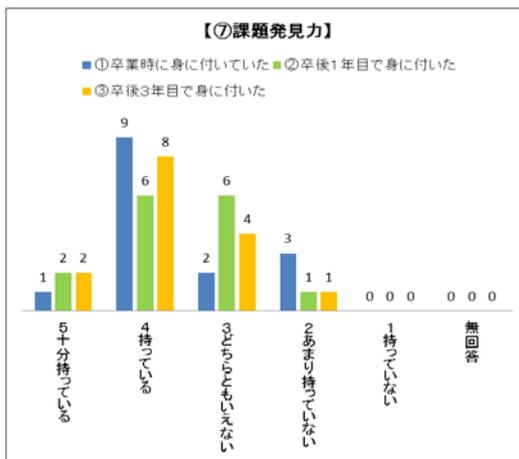
(5) やる気を維持する力〔自信創出力:対自己基礎力2〕



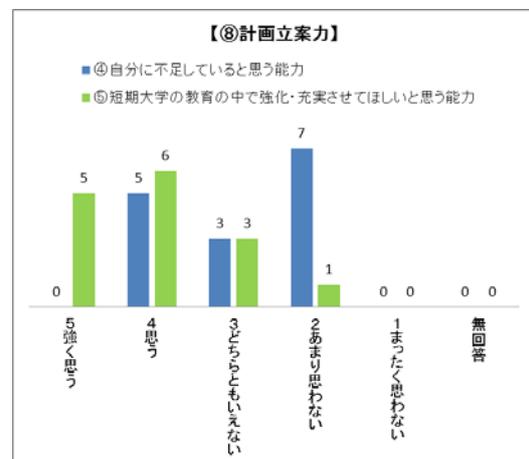
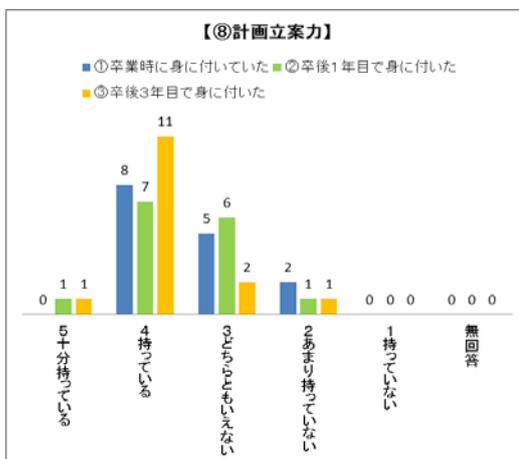
(6) 良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力:対自己基礎力3〕



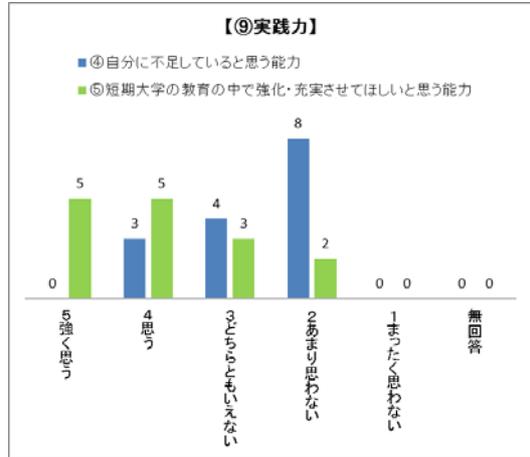
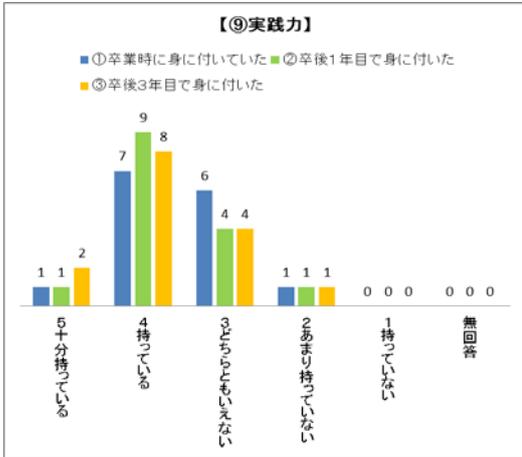
(7) 情報を収集・分析して、課題を発見する力〔課題発見力:対課題基礎力1〕



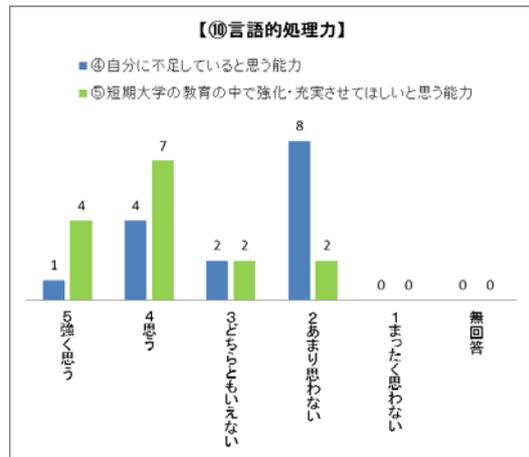
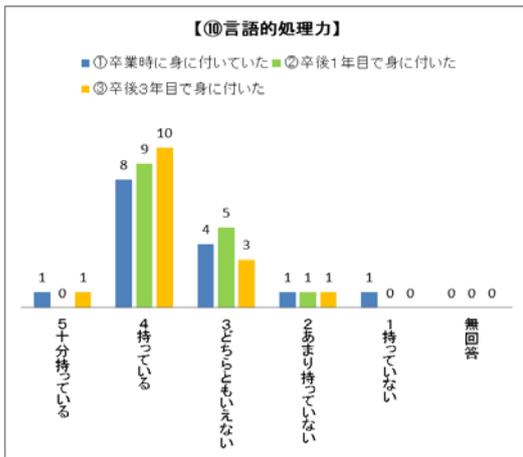
(8) 課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力:対課題基礎力2〕



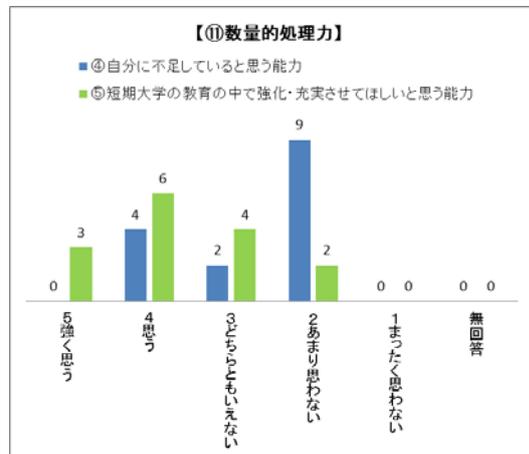
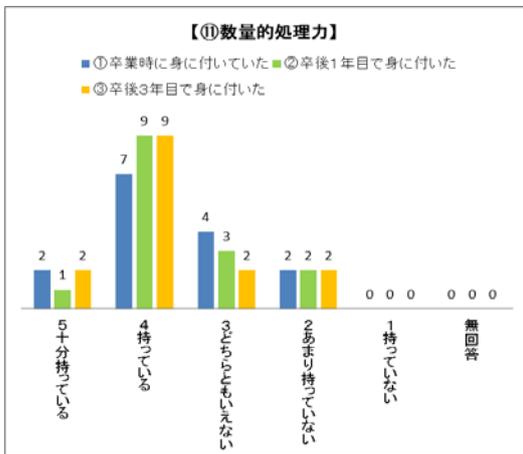
(9) 行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力:対課題基礎力3〕



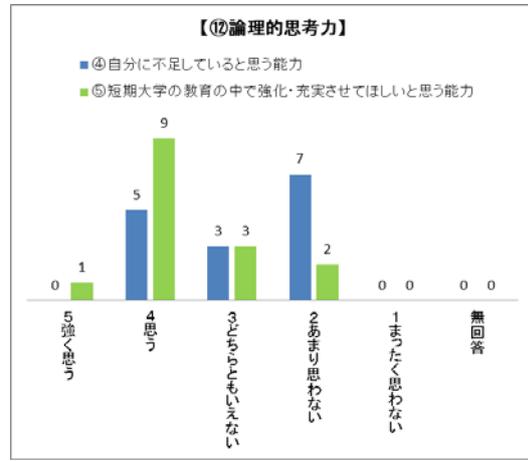
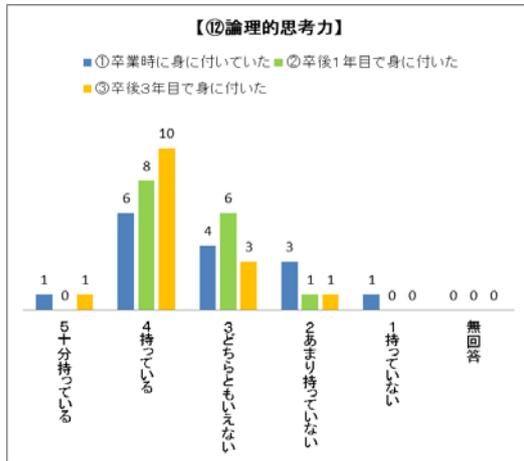
(10) 文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力:処理力1〕



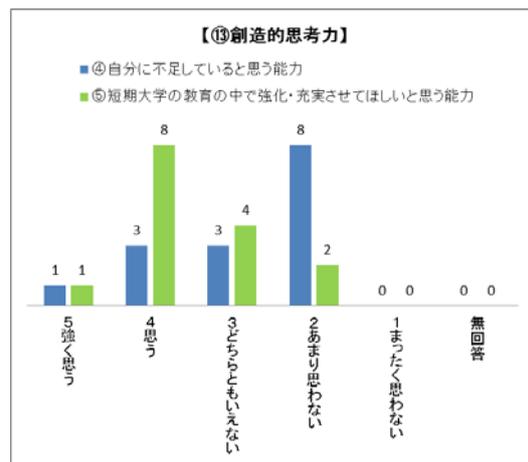
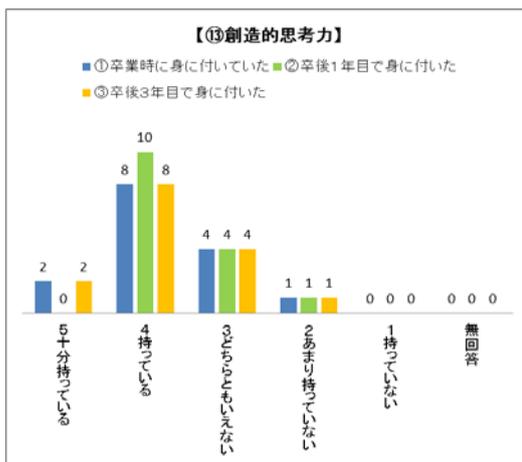
(11) データや数字をすばやく読み取る力〔数量的処理力:処理力2〕



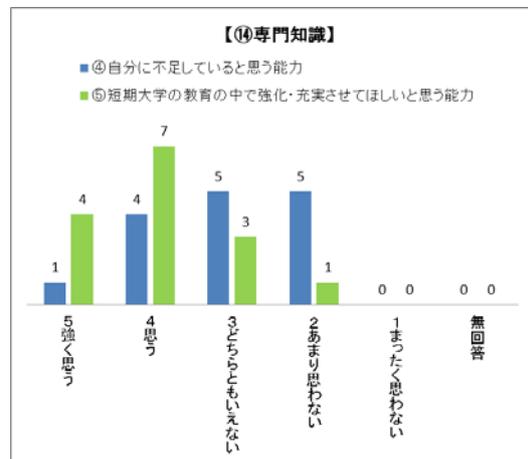
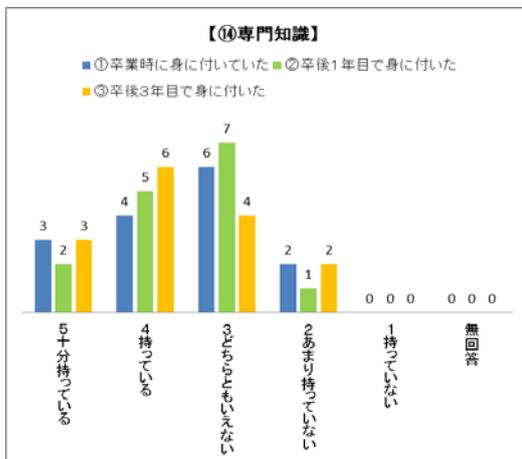
(12) 論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力:思考力1〕



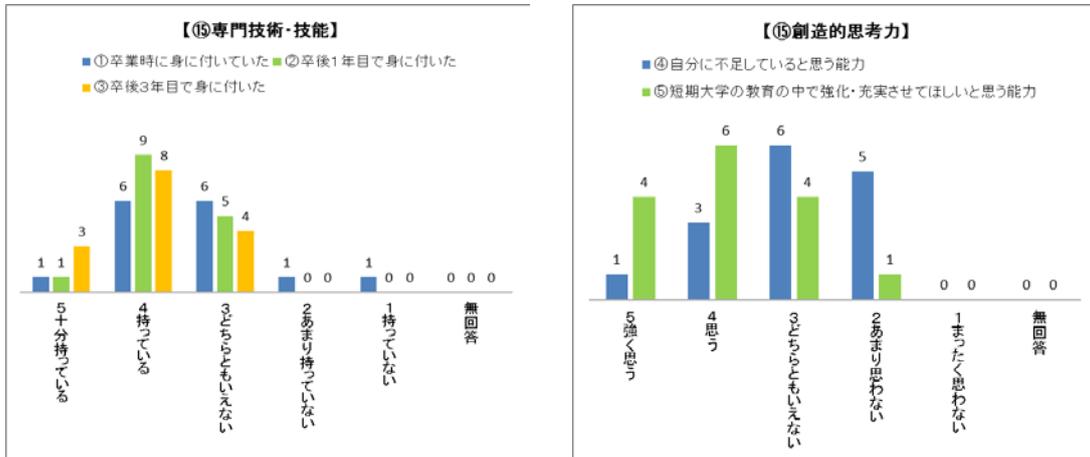
(13) 独自のものの見方や考え方をする力〔創造的思考力:思考力2〕



(14) 現在の仕事に関する専門的な知識〔専門知識:専門力1〕

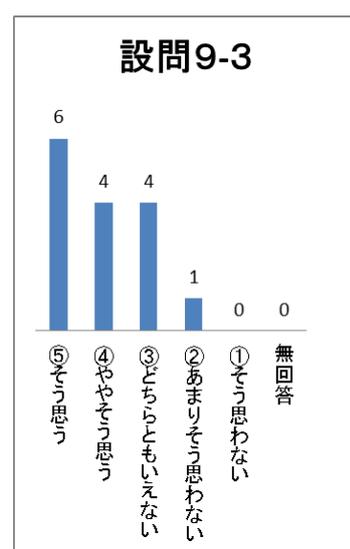
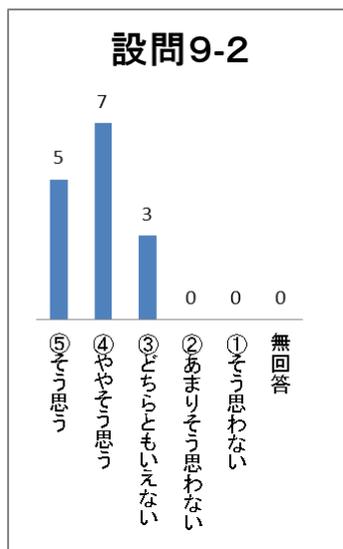
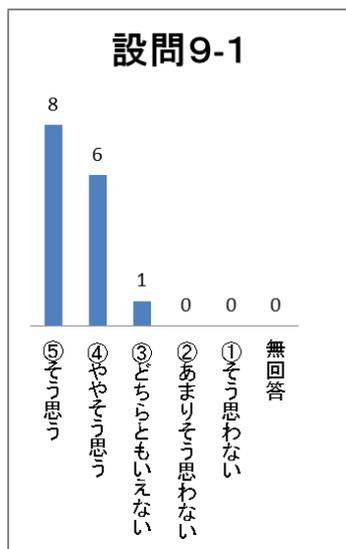


(15)現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能:専門力2〕



設問9: 本学での教育全般について ○をつけてください。

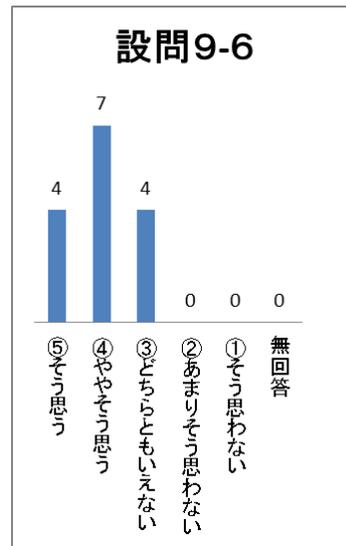
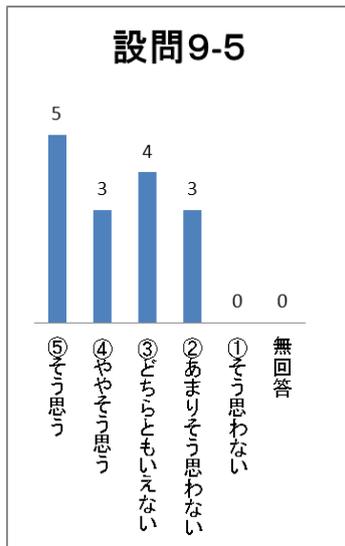
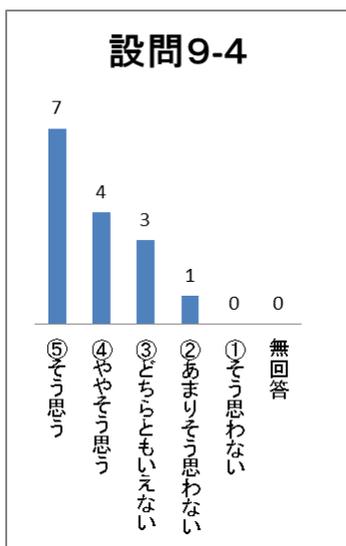
- 1) 専門領域における知識面での教育は適切であった。
 2) 専門領域における技術面での教育は適切であった。
 (3) 一般常識や教養が身についた。



(4) 人間性の面で適切な教育がなされていた。

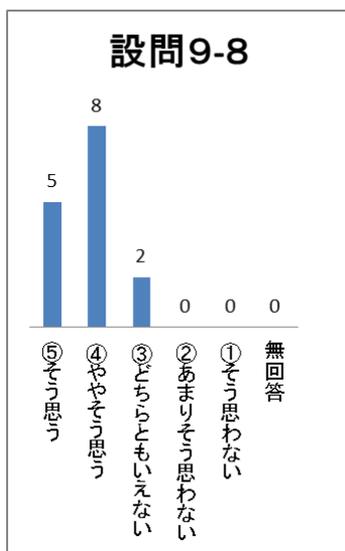
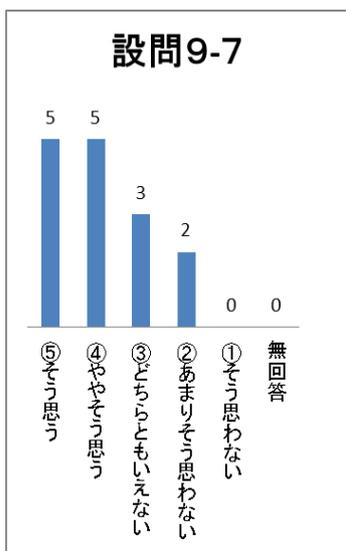
(5) 自己(健康・体調)管理についての教育が適切になされていた。

(6) コミュニケーション教育が適切になされていた。



(7) 笑顔・挨拶を含めた接遇が身についた。

(8) 短期大学での教育は、総合的に満足であった。



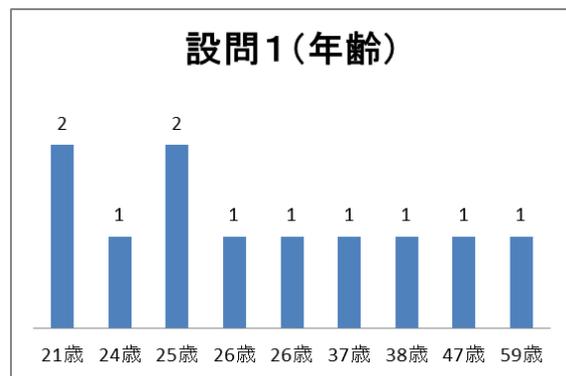
福岡医療短期大学 保健福祉学科同窓会会員(卒業生)へのアンケート

保健福祉学科 16期生(H28年度卒):回答 11/28名【男性6名、女性5名】2018.2.16 郵送

I) 就業状況について、お聞かせください。

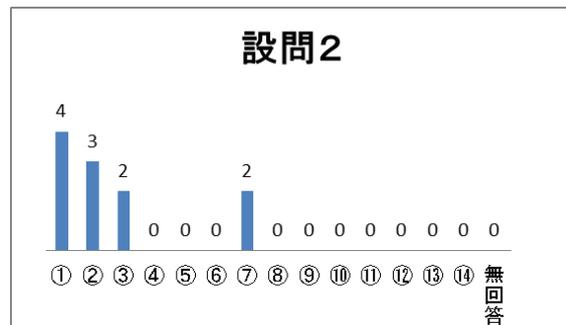
設問1: あなたの性別・年齢についてお答えください。

- 男性:6/15人
- 女性:5/13人
- 年齢:グラフ参照



設問2: 現在の就職・進学先 について該当する番号に○をつけてください。

- ①介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
- ②介護老人保健施設
- ③障がい者関係施設
(身体・知的・精神・重症心身)
- ④医療機関
- ⑤グループホーム・小規模多機能型施設
- ⑥有料老人ホーム
- ⑦通所施設(デイケア、デイサービス)
- ⑧訪問介護
- ⑨居宅介護支援事業所
- ⑩その他の社会福祉領域(公務員等としての福祉業務)
→具体的に(回答なし)
- ⑪社会福祉領域以外の職種(福祉領域以外での就職)
→具体的に(回答なし)
- ⑫進学・学生(大学、短期大学、専門学校 等)



→具体的に(回答なし)

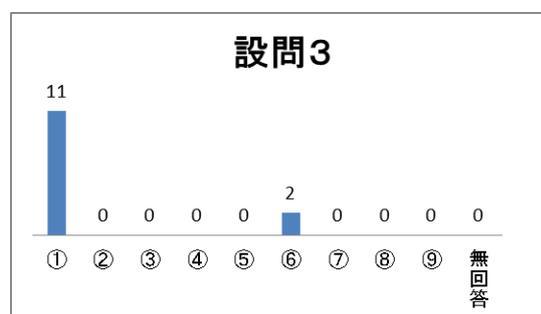
⑬現在は就職・進学していない(休職中、家事手伝い、専業主婦 等)

⑭その他

→具体的に(回答なし)

設問3: 現在の職場 において活用している資格について、
該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

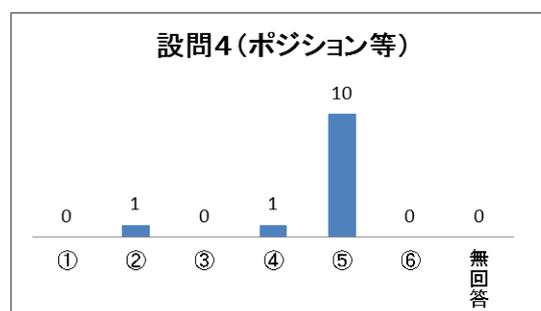
- ①介護福祉士
- ②ケア・マネジャー
- ③社会福祉士
- ④看護師
- ⑤理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
- ⑥社会福祉主事任用資格
- ⑦認知症ケア専門士
- ⑧なし(他業種での就業時 等)
- ⑨その他
→具体的に(回答なし)



設問4: 現在の職場 におけるポジション(役職を含めて)と雇用形態について、
該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

■ ポジション(役職等)について

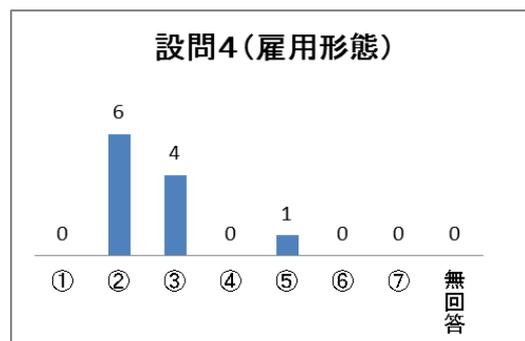
- ①職場の長・責任者
- ②主任、フロア・リーダー等の役職
→具体的に(回答なし)
- ③実習学生、新人の指導者
→具体的に(回答なし)
- ④相談員等の相談業務
→具体的に
・生活相談員
- ⑤特に役職・肩書きなし



- ⑥その他のポジション
→具体的に(回答なし)

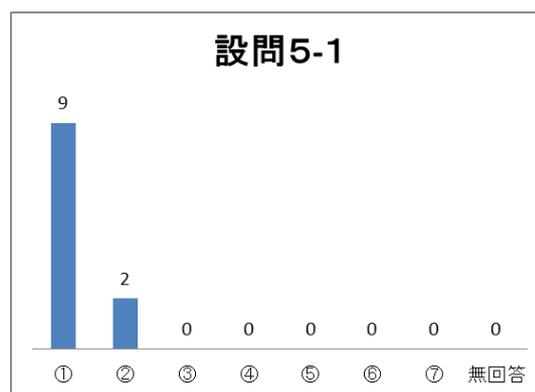
■雇用形態について

- ①経営者・自営(共同経営、共同出資)
- ②正規職員・社員(正規雇用)
- ③嘱託職員(期限限定の雇用)
→雇用年限:5年間
- ④非常勤(パートタイマー)
- ⑤契約社員・職員、派遣社員に準ずる
契約形態
- ⑥進学・学生
(大学、短期大学、専門学校 等)
- ⑦就職・進学していない
(休職中、家事手伝い、専業主婦 等)



設問5-1: 卒業後の転職や退職について、該当する番号に○をつけてください。
[平成30年3月末(予定を含む)でお答えください]

- ①卒業してから現在まで
同じ勤務先(施設)で働いている
- ②最初の職場を退職したが、
1ヶ月以内に介護福祉士として
再就職した
- ③最初の職場を退職し、
1ヶ月以上離職したが再就職した
- ④最初の職場を退職し、
その後再就職していない
- ⑤一時的に仕事に就いた
- ⑥卒業してから就職していない
- ⑦その他
→具体的に(回答なし)



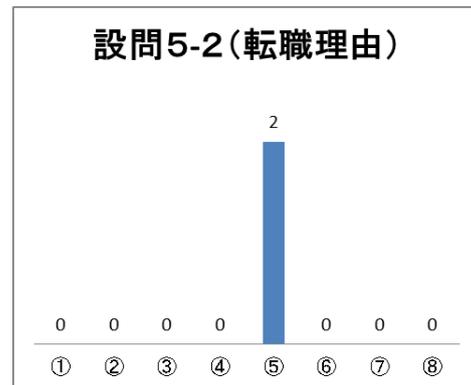
設問5-2:「転職 経験あり」の方のみ、お答えください。

→ 転職先の職種を、具体的にお聞かせください。

- ・デイサービス 2 票

→ その理由は、なにでしたか？該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

- ①腰痛等の「身体的・体力的」な問題
- ②医療・福祉領域における「精神的」な負担
- ③介護福祉士としてのキャリアアップのため
- ④給与などの経済的な理由
- ⑤「人間関係・待遇」などの職場内の問題
- ⑥他の職種に興味を持ったため
- ⑦出産・子育て等のため
- ⑧その他

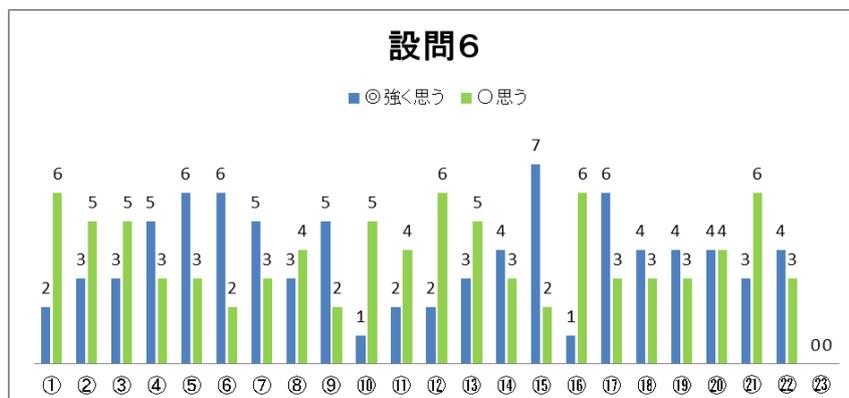


→具体的に(回答なし)

II) 就業のための教育や能力養成について、お聞かせください。

設問6: 本学で充実すべき教育内容(専門教育)であると思われる項目について、

◎=強く思う、○=思う の記号をつけてください。



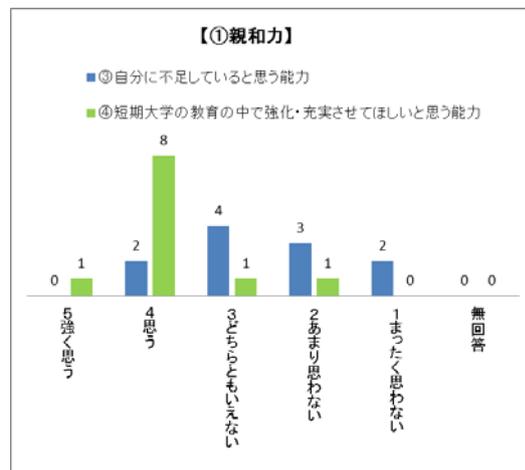
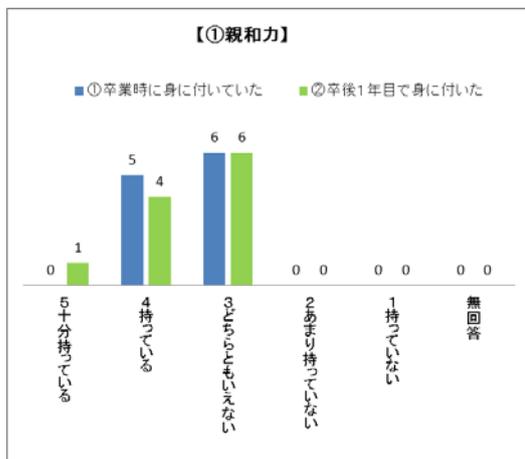
- 1 人間の尊厳と自立(「人間」の多面的理解や人権尊重など)
- 2 人間関係とコミュニケーション(対人関係や受容・共感・傾聴など)
- 3 社会の理解(介護保険制度や障害者総合支援法など)
- 4 介護の基本(介護福祉士の役割や介護を必要とする人の理解など)
- 5 コミュニケーション技術①(介護現場における利用者・家族とのコミュニケーション)
- 6 コミュニケーション技術②(介護におけるチームのコミュニケーションや多職種連携)
- 7 コミュニケーション技術③(上司・同僚とのコミュニケーションや業務のコーディネート技術)
- 8 生活支援技術①(自立に向けた居住環境の整備など)
- 9 生活支援技術②(自立に向けた形態別介護技術)
- 10 生活支援技術③(自立に向けた家事など)
- 11 生活支援技術④(終末期の介護やグリーフケアなど)
- 12 介護過程①(介護過程の意義や展開など)
- 13 介護過程②(介護過程とチームアプローチなど)
- 14 介護総合演習(事例検討・演習の充実など)
- 15 介護実習(介護福祉施設実習や居宅介護実習など)
- 16 発達と老化の理解(老化に伴うこころとからだの変化や生活上の留意点)
- 17 認知症の理解(認知症に伴うこころとからだの変化や家族への支援など)
- 18 障害の理解(医学的側面の基礎的知識やチームアプローチなど)
- 19 こころとからだのしくみ①(人体の構造・機能や介護サービス提供時の留意点など)
- 20 こころとからだのしくみ②(心理的側面への配慮についてなど)
- 21 口腔ケアの基礎知識
- 22 医療的ケアの基礎知識(たんの吸引や胃瘻の管理など)
- 23 その他 ()→ 回答なし

設問8：社会人としての能力について、お聞かせください。

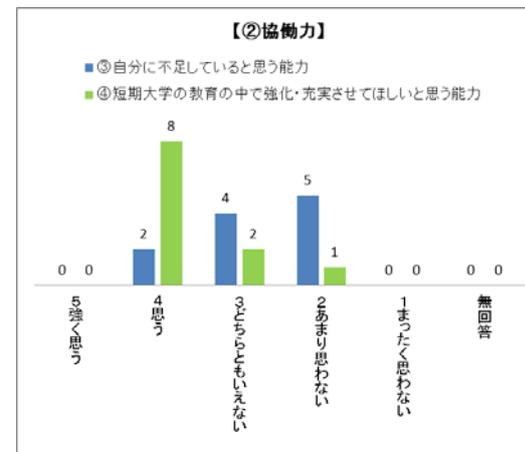
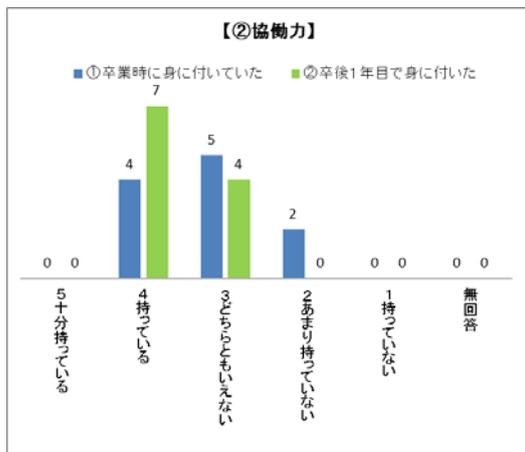
- ①卒業時に身に付けていた程度
- ②卒業後1年目に身に付けていた程度
- ③自分に不足していると思う能力
- ④短期大学の教育の中で強化・充実させてほしいと思う能力

について、5段階の選択肢の中から、それぞれ○をつけてください。

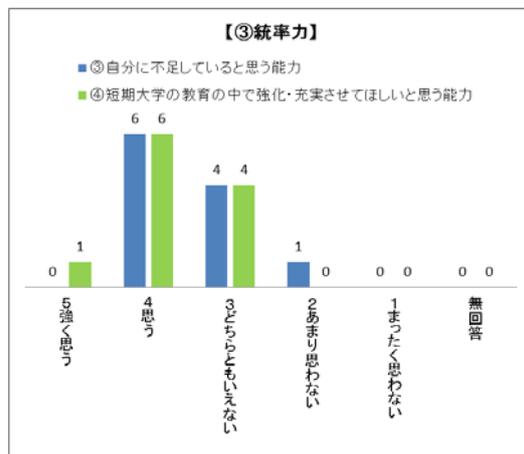
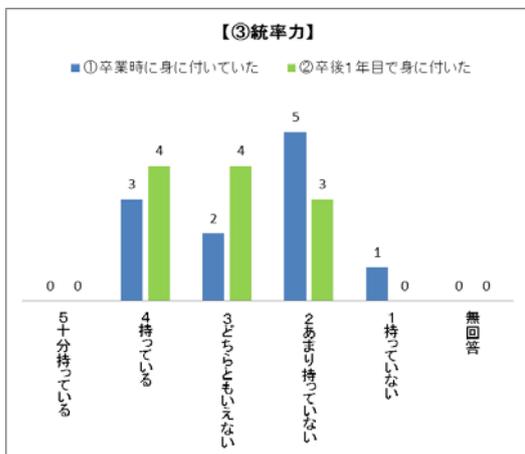
(1) 円満な人間関係を築く力〔親和力: 対人基礎力1〕



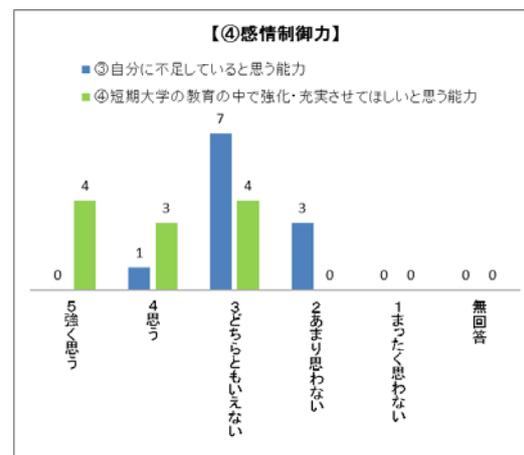
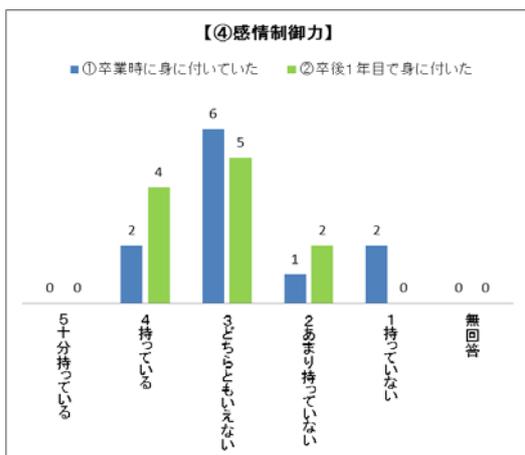
(2) 人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力: 対人基礎力2〕



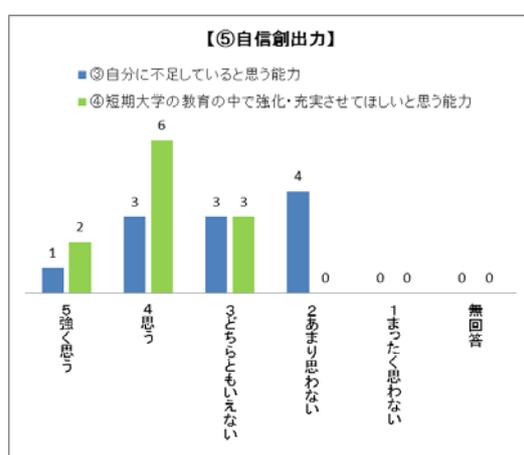
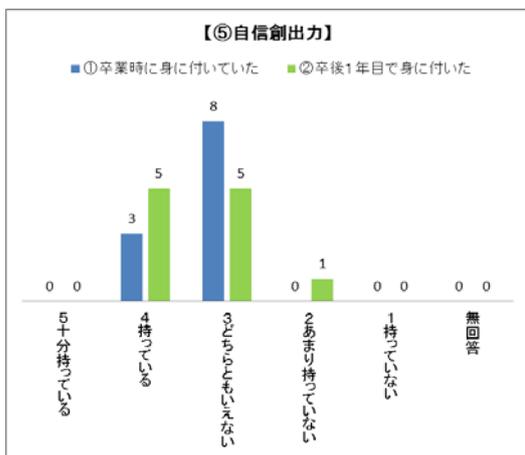
(3) 目標に向かって人や集団をひっぱる力〔統率力:対人基礎力3〕



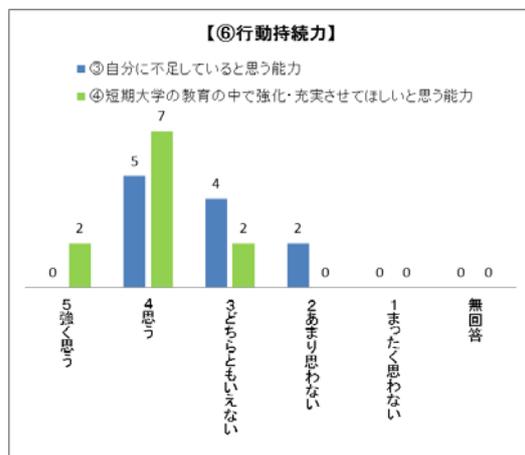
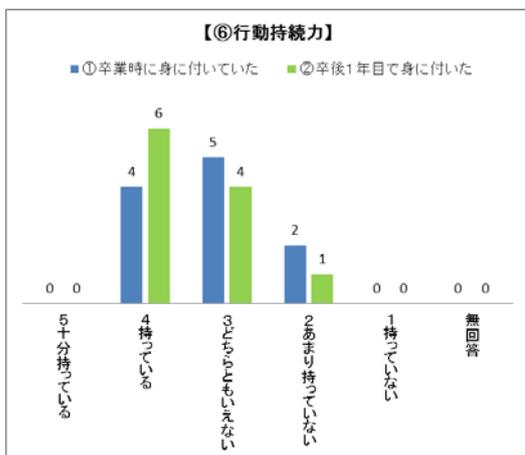
(4) 自分の感情をコントロールする力〔感情制御力:対自己基礎力1〕



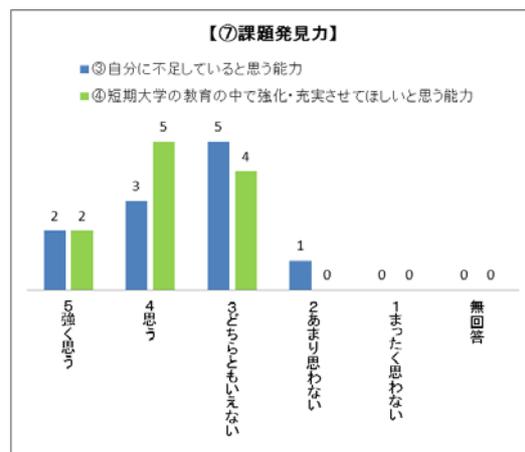
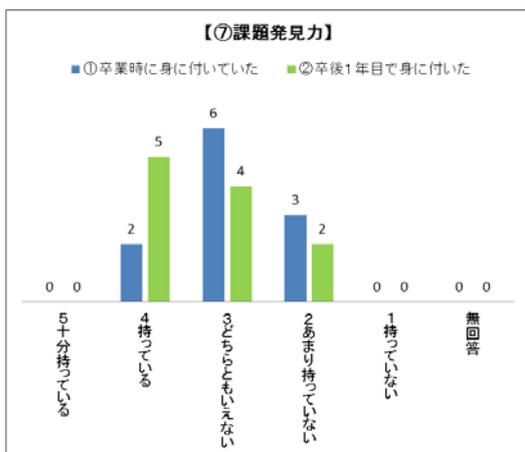
(5) やる気を維持する力〔自信創出力:対自己基礎力2〕



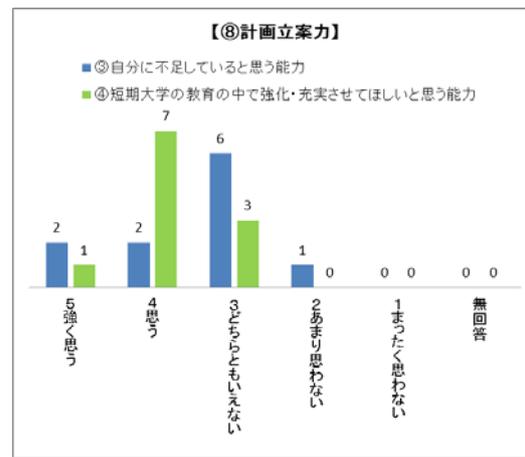
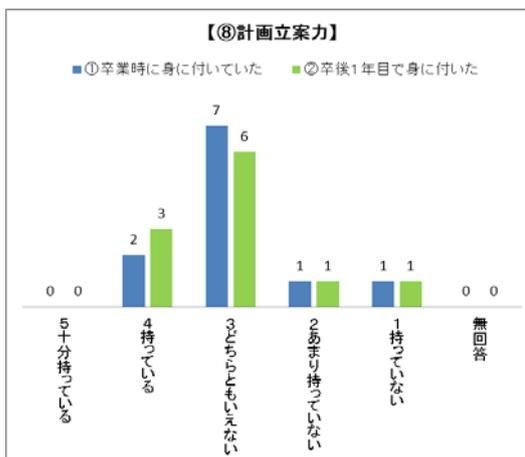
(6) 良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力:対自己基礎力3〕



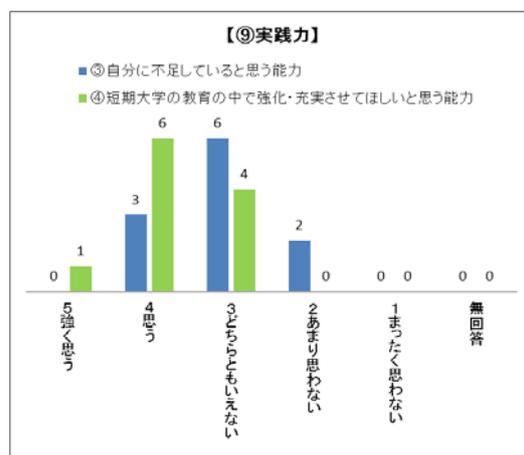
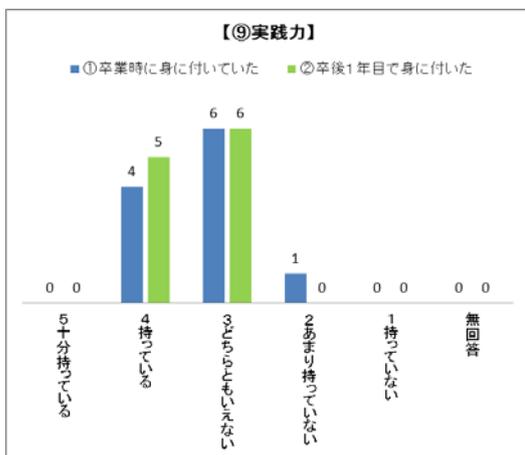
(7) 情報を収集・分析して、課題を発見する力〔課題発見力:対課題基礎力1〕



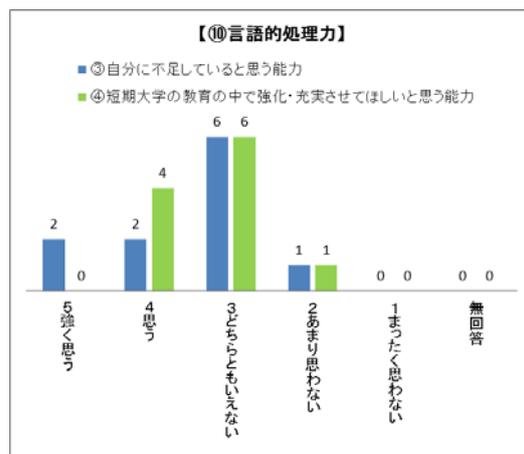
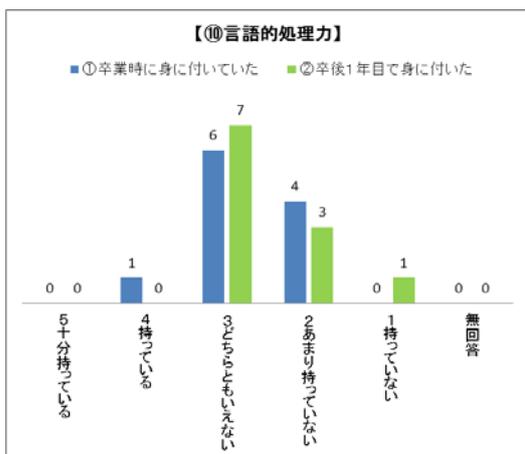
(8) 課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力:対課題基礎力2〕



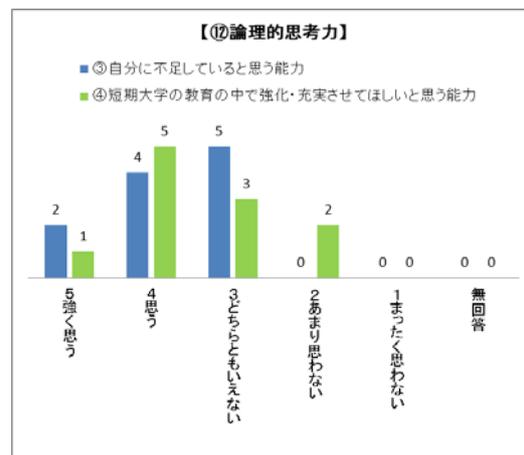
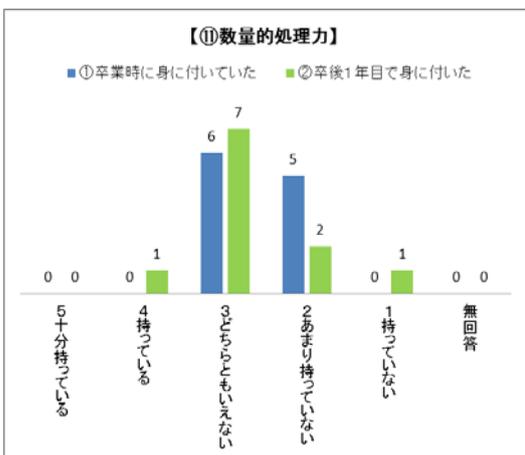
(9) 行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力:対課題基礎力3〕



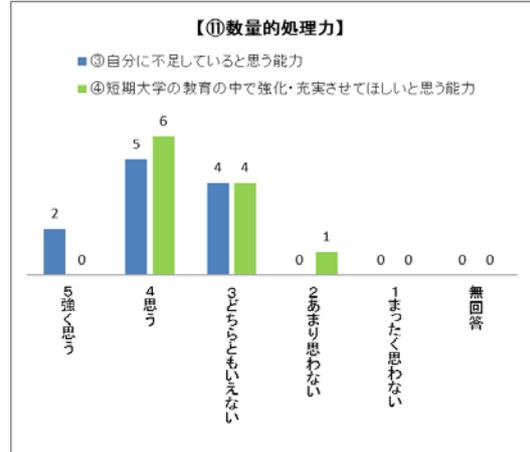
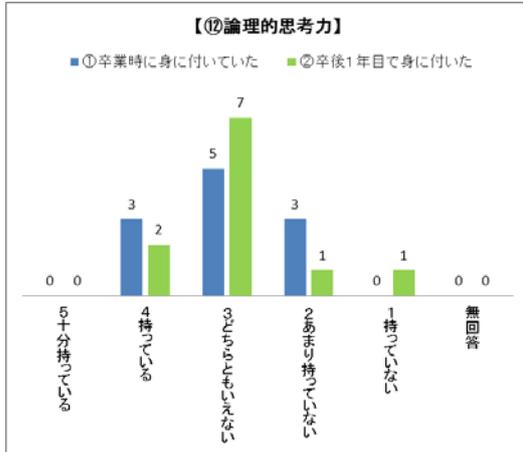
(10) 文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力:処理力1〕



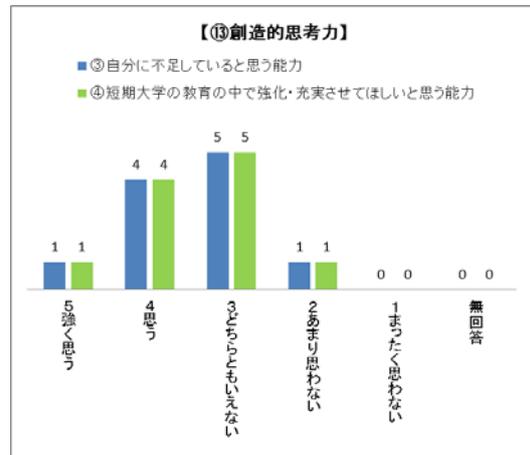
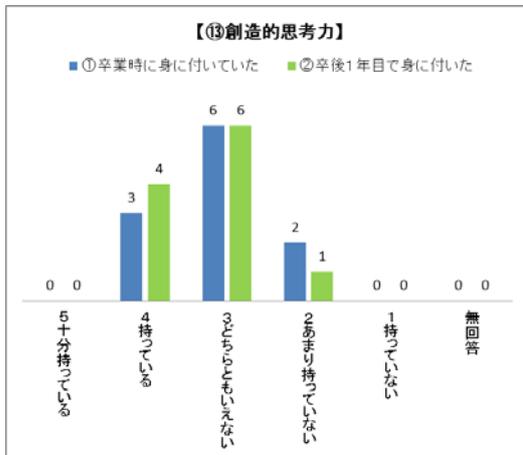
(11) データや数字をすばやく読み取る力〔数量的処理力:処理力2〕



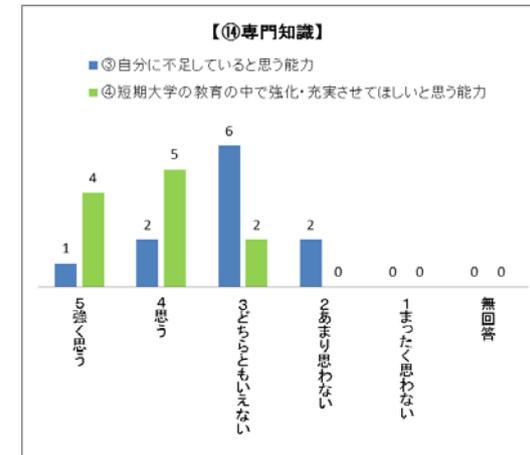
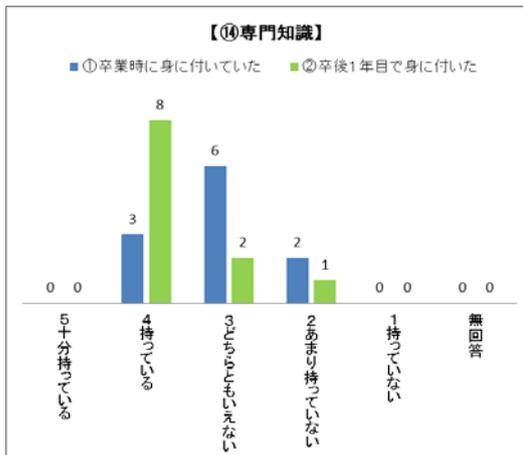
(12) 論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力:思考力1〕



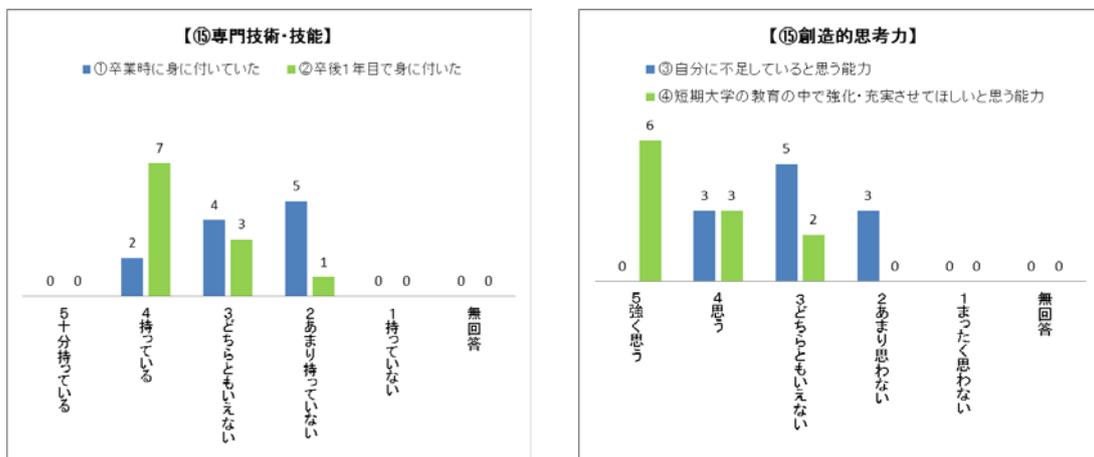
(13) 独自のものの見方や考え方をする力〔創造的思考力:思考力2〕



(14) 現在の仕事に関する専門的な知識〔専門知識:専門力1〕

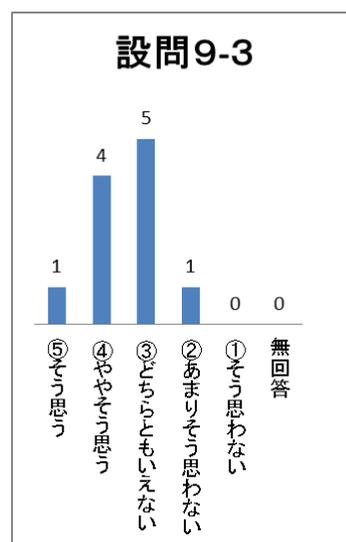
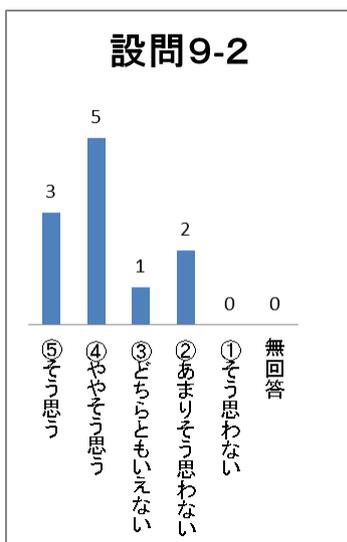
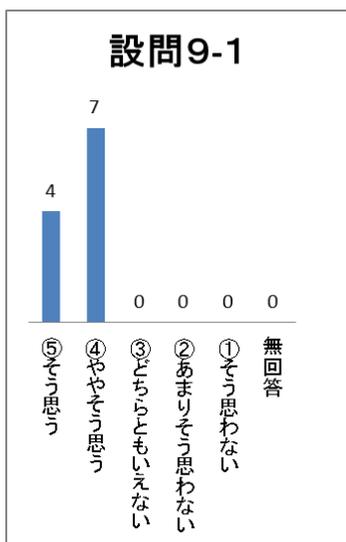


(15) 現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能:専門力2〕

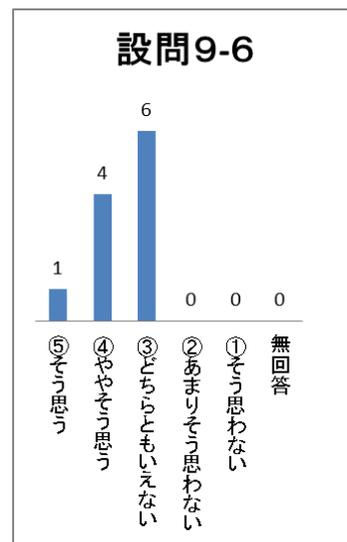
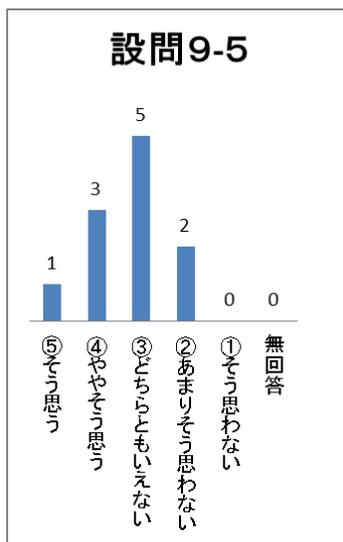
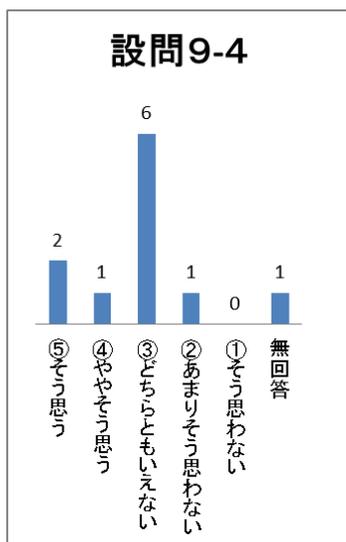


設問9: 本学での教育全般について ○をつけてください。

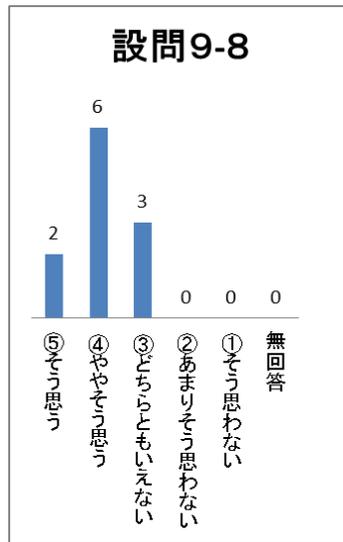
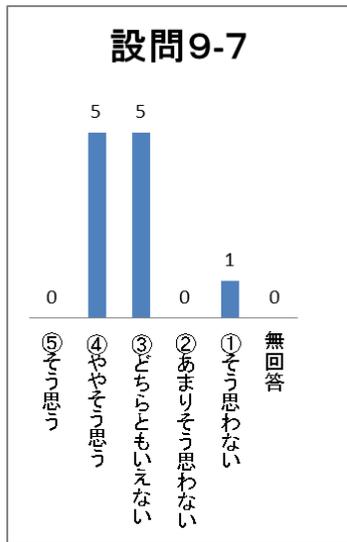
- (1) 専門領域における知識 (2) 専門領域における技術面 (3) 一般常識や教養が身についた。
 面の教育は適切であった。 での教育は適切であった。 いた。
 った。



- (4) 人間性の面で適切な教育がなされていた。 (5) 自己(健康・体調)管理についての教育が適切になされていた。 (6) コミュニケーション教育が適切になされていた。



- (7) 笑顔・挨拶を含めた接遇が身についた。 (8) 短期大学での教育は、総合的に満足であった。

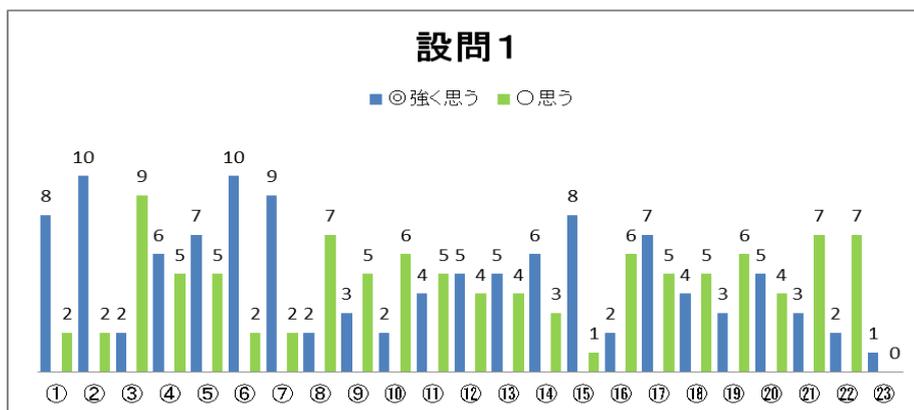


⑦卒業生対象の追跡調査【保健福祉学科・就職先対象】

福岡医療短期大学 保健福祉学科 卒業生に関するアンケート

保健福祉学科 14期卒業生 就職先施設 (12/21 件) 対象 2018/2/16 郵送

設問1: 短期大学(本学を含む)で充実すべき教育内容(専門教育)であると思われる項目について、◎=強く思う、○=思う の記号をつけてください。



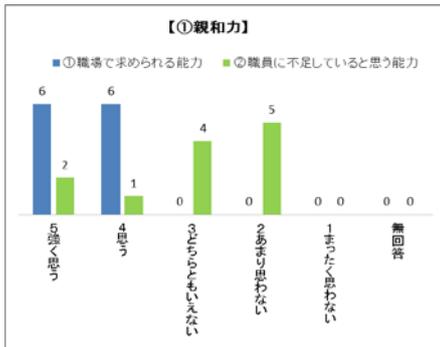
- ①人間の尊厳と自立(「人間」の多面的理解や人権尊重など)
- ②人間関係とコミュニケーション(対人関係や受容・共感・傾聴など)
- ③社会の理解(介護保険制度や障害者総合支援法など)
- ④介護の基本(介護福祉士の役割や介護を必要とする人の理解など)
- ⑤コミュニケーション技術①(介護現場における利用者・家族とのコミュニケーション)
- ⑥コミュニケーション技術②(介護におけるチームのコミュニケーションや多職種連携)

- ⑦コミュニケーション技術③(上司・同僚とのコミュニケーションや業務のコーディネート技術)
- ⑧生活支援技術①(自立に向けた居住環境の整備など)
- ⑨生活支援技術②(自立に向けた形態別介護技術)
- ⑩生活支援技術③(自立に向けた家事など)
- ⑪生活支援技術④(終末期の介護やグリーフケアなど)
- ⑫介護過程①(介護過程の意義や展開など)
- ⑬介護過程②(介護過程とチームアプローチなど)
- ⑭介護総合演習(事例検討・演習の充実など)
- ⑮介護実習(介護福祉施設実習や居宅介護実習など)
- ⑯発達と老化の理解(老化に伴うこころとからだの変化や生活上の留意点)
- ⑰認知症の理解(認知症に伴うこころとからだの変化や家族への支援など)
- ⑱障害の理解(医学的側面の基礎的知識やチームアプローチなど)
- ⑲こころとからだのしくみ①(人体の構造・機能や介護サービス提供時の留意点など)
- ⑳こころとからだのしくみ②(心理的側面への配慮についてなど)
- ㉑口腔ケアの基礎知識
- ㉒医療的ケアの基礎知識(たんの吸引や胃瘻の管理など)
- ㉓その他 → 具体的に ・社会人のルールとマナー

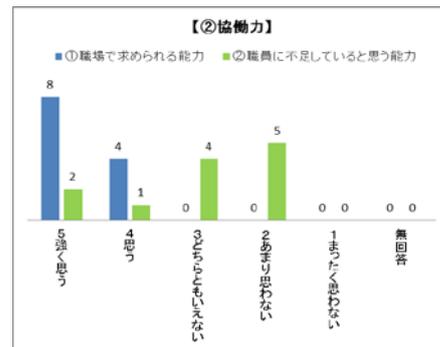
設問2: 社会人としての能力について、お聞かせください。

- ① 貴施設での職務において求められる重要な能力 と
 - ② 短期大学(本学を含む)を卒業した職員に不足していると思う能力 について
- 5段階の選択肢の中から、それぞれ○をつけてください。

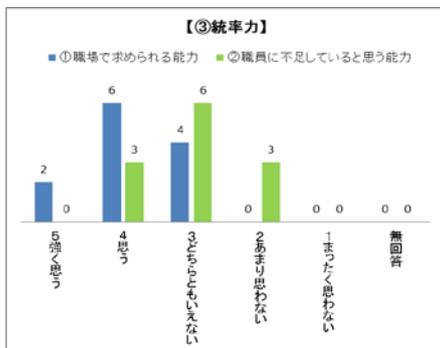
(1) 円満な人間関係を築く力
〔親和力: 対人基礎力1〕



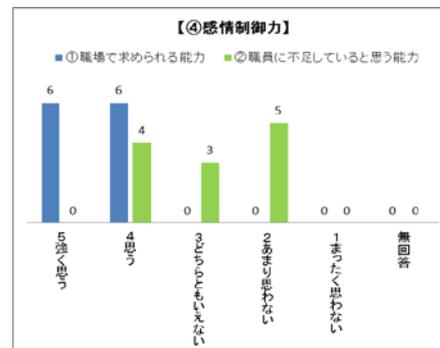
(2) 人と協力しながら物事に取り組む力
〔協働力: 対人基礎力2〕



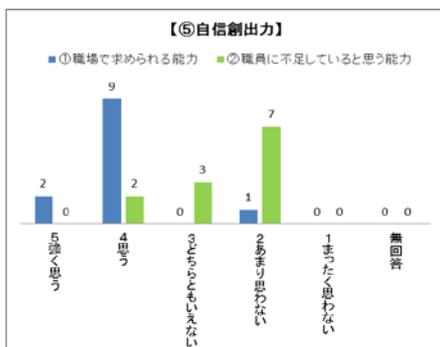
(3) 目標に向かって人や集団をひっぱる力
〔統率力: 対人基礎力3〕



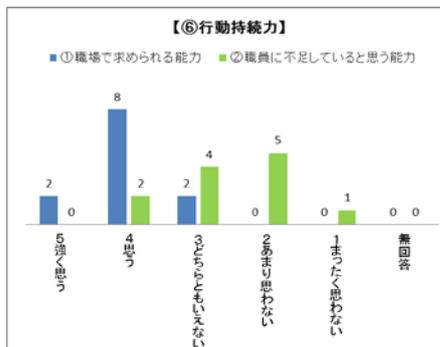
(4) 自分の感情をコントロールする力
〔感情制御力: 対自己基礎力1〕



(5) やる気を維持する力
〔自信創出力: 対自己基礎力2〕

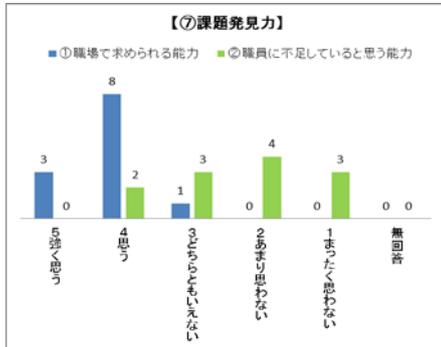


(6) 良い行動を習慣として続けられる力
〔行動持続力: 対自己基礎力3〕



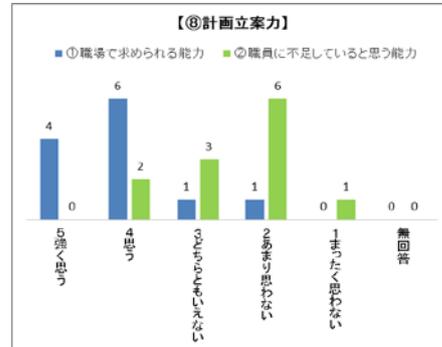
(7) 情報を収集・分析して、課題を発見する力

[課題発見力:対課題基礎力1]



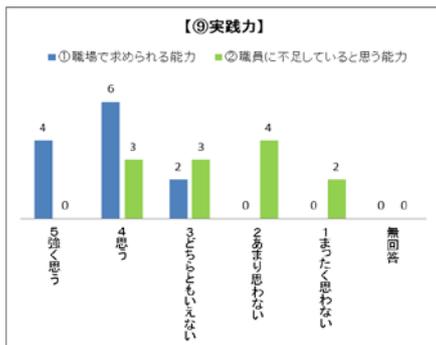
(8) 課題解決のための計画を立案する力

[計画立案力:対課題基礎力2]



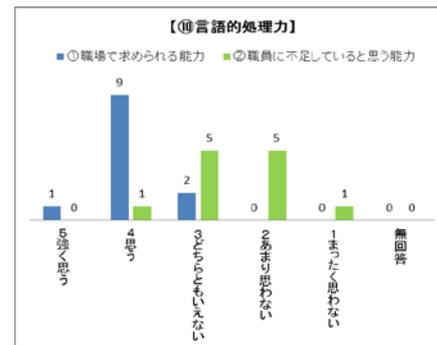
(9) 行動を起こし、最後までやりきる力

[実践力:対課題基礎力3]



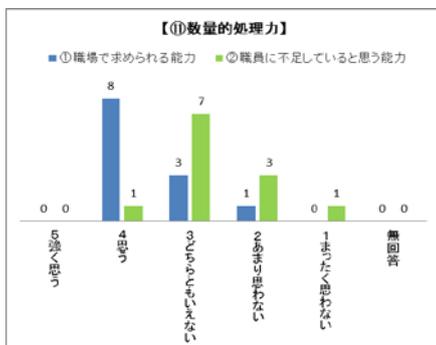
(10) 文章の構成や要旨を的確に理解する力

[言語的処理力:処理力1]



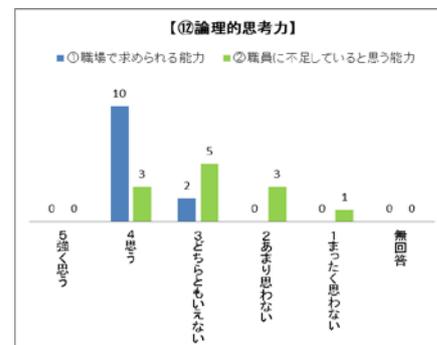
(11) データや数字をすばやく読み取る力

[数量的処理力:処理力2]

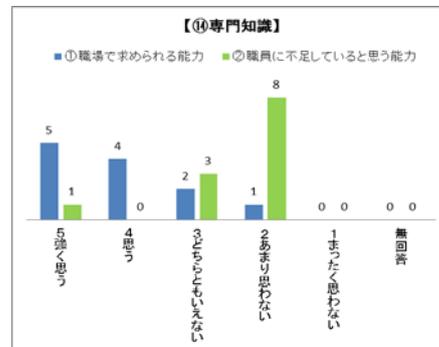
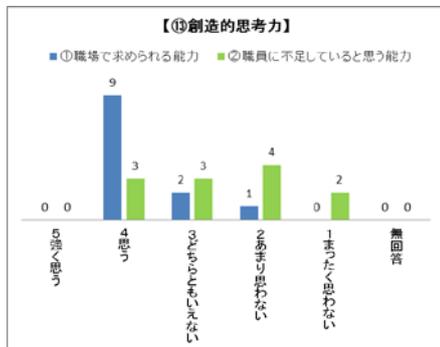


(12) 論理的に物事を分析・構築する力

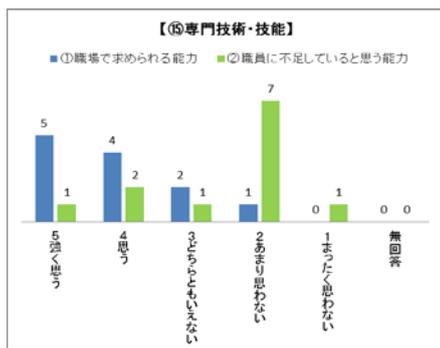
[論理的思考力:思考力1]



- (13) 独自のものの見方や考え方をする力 [創造的思考力: 思考力2] (14) 現在の仕事に関する専門的な知識 [専門知識: 専門力1]

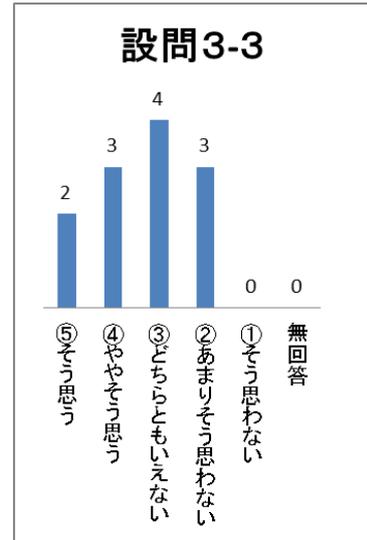
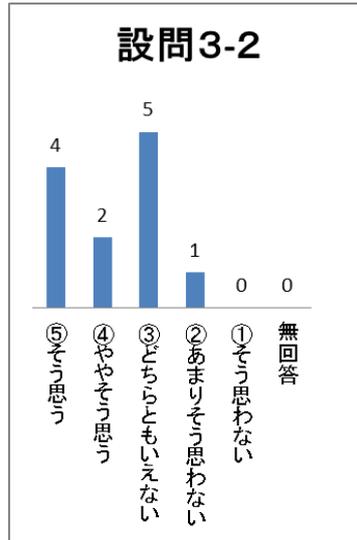
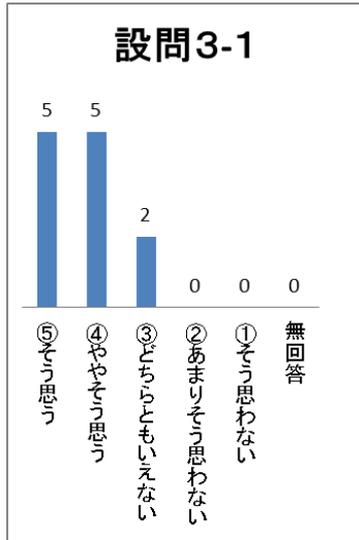


- (15) 現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ [専門技術・技能: 専門力2]

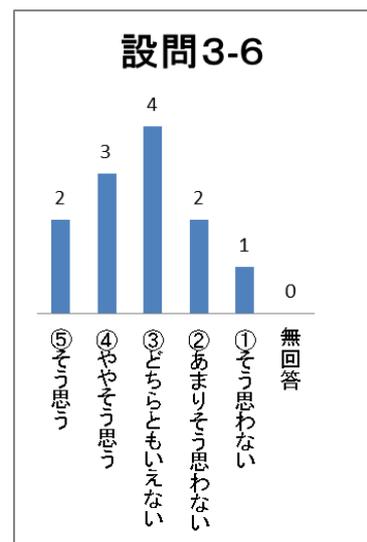
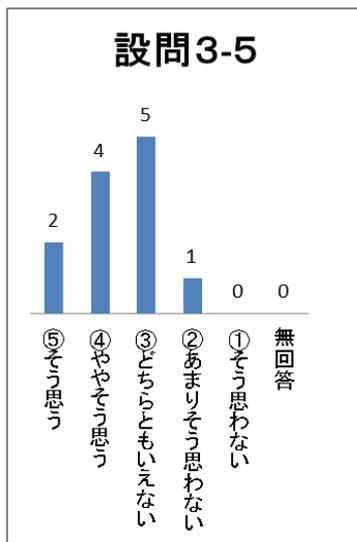
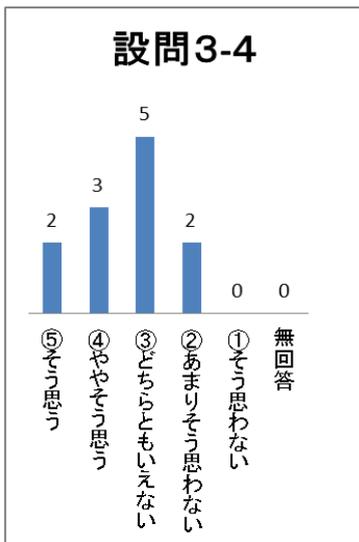


設問3: 本学での教育全般について ○をつけてください。

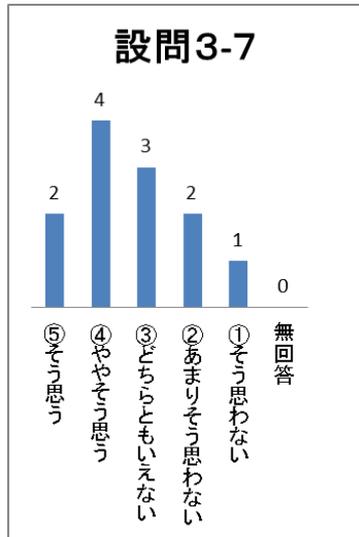
- (1) 専門領域における知識面での教育は適切である。
 (2) 専門領域における技術面での教育は適切であった。
 (3) 一般常識や教養が身に付いている。



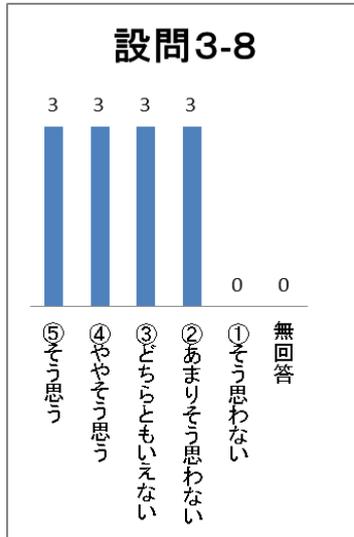
- (4) 人間性の面で適切な教育がなされている。
 (5) 自己(健康・体調)管理についての教育が適切になされている。
 (6) コミュニケーション教育が適切になされている。



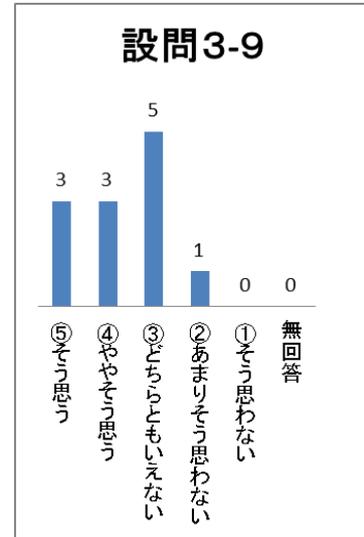
(7)笑顔・挨拶を含めた接遇が身についている。



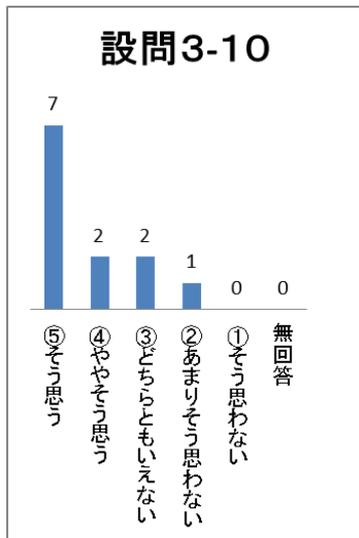
(8)短大で身につけた能力を發揮している。



(9)短期大学での教育は、総合的に満足である。



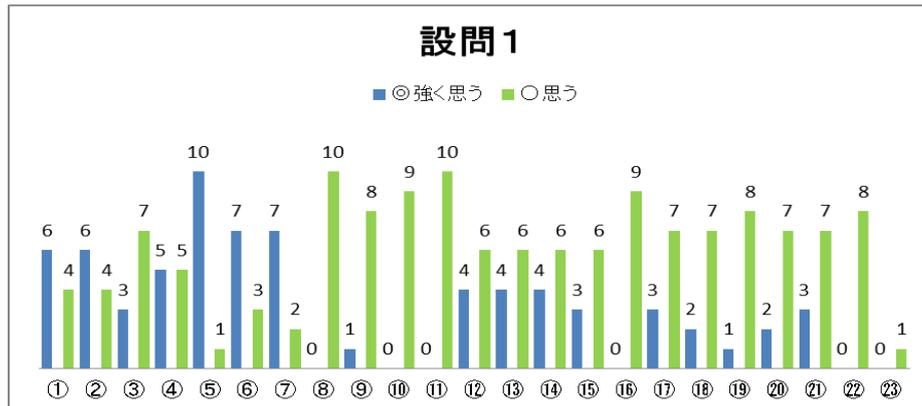
(10)今後も本学(短期大学)の卒業生を採用したいと思う。



福岡医療短期大学 保健福祉学科 卒業生に関するアンケート

保健福祉学科 16期卒業生 就職先施設(11/19件)対象 2018/2/16 郵送

設問1:短期大学(本学を含む)で充実すべき教育内容(専門教育)であると思われる項目について、◎=強く思う、○=思う の記号をつけてください。



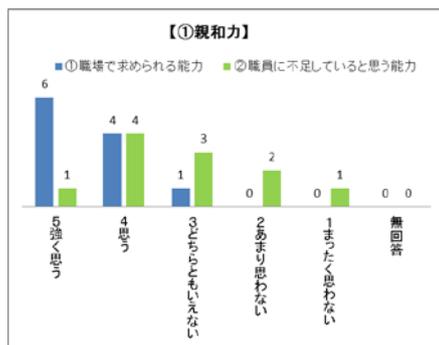
- ①人間の尊厳と自立(「人間」の多面的理解や人権尊重など)
- ②人間関係とコミュニケーション(対人関係や受容・共感・傾聴など)
- ③社会の理解(介護保険制度や障害者総合支援法など)
- ④介護の基本(介護福祉士の役割や介護を必要とする人の理解など)
- ⑤コミュニケーション技術①(介護現場における利用者・家族とのコミュニケーション)
- ⑥コミュニケーション技術②(介護におけるチームのコミュニケーションや多職種連携)
- ⑦コミュニケーション技術③(上司・同僚とのコミュニケーションや業務のコーディネート技術)
- ⑧生活支援技術①(自立に向けた居住環境の整備など)
- ⑨生活支援技術②(自立に向けた形態別介護技術)
- ⑩生活支援技術③(自立に向けた家事など)
- ⑪生活支援技術④(終末期の介護やグリーフケアなど)
- ⑫介護過程①(介護過程の意義や展開など)
- ⑬介護過程②(介護過程とチームアプローチなど)
- ⑭介護総合演習(事例検討・演習の充実など)
- ⑮介護実習(介護福祉施設実習や居宅介護実習など)
- ⑯発達と老化の理解(老化に伴うこころとからだの変化や生活上の留意点)
- ⑰認知症の理解(認知症に伴うこころとからだの変化や家族への支援など)
- ⑱障害の理解(医学的側面の基礎的知識やチームアプローチなど)
- ⑲こころとからだのしくみ①(人体の構造・機能や介護サービス提供時の留意点など)
- ⑳こころとからだのしくみ②(心理的側面への配慮についてなど)
- ㉑口腔ケアの基礎知識
- ㉒医療的ケアの基礎知識(たんの吸引や胃瘻の管理など)
- ㉓その他 → 具体的に ・社会人としての自覚とマナー

設問2: 社会人としての能力について、お聞かせください。

- ① 貴施設での職務において求められる重要な能力 と
 - ② 短期大学(本学を含む)を卒業した職員に不足していると思う能力 について
- 5段階の選択肢の中から、それぞれ○をつけてください。

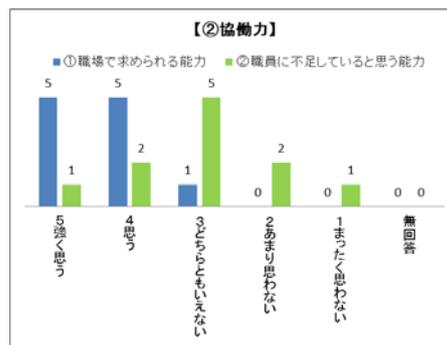
(1) 円満な人間関係を築く力

[親和力: 対人基礎力1]



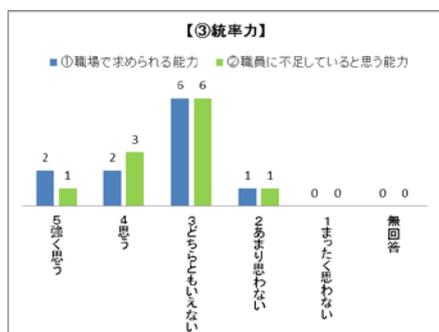
(2) 人と協力しながら物事に取り組む力

[協働力: 対人基礎力2]



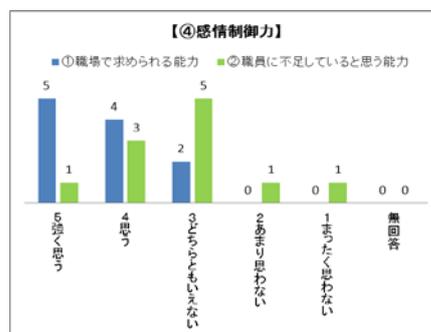
(3) 目標に向かって人や集団をひっぱる力

[統率力: 対人基礎力3]



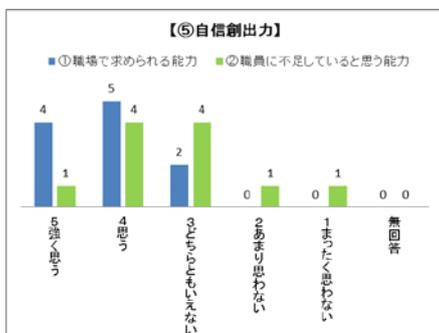
(4) 自分の感情をコントロールする力

[感情制御力: 対自己基礎力1]



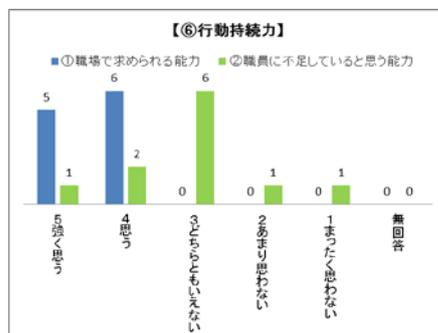
(5) やる気を維持する力

[自信創出力: 対自己基礎力2]



(6) 良い行動を習慣として続けられる力

[行動持続力: 対自己基礎力3]

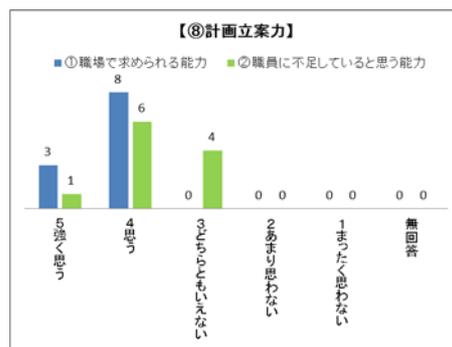
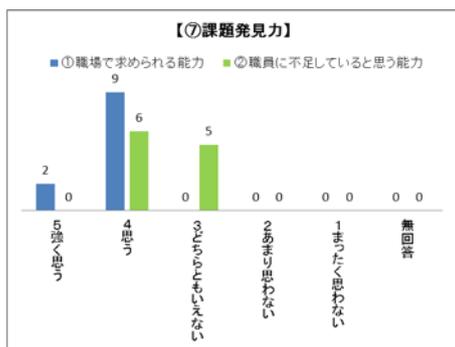


(7) 情報を収集・分析して、課題を発見する力

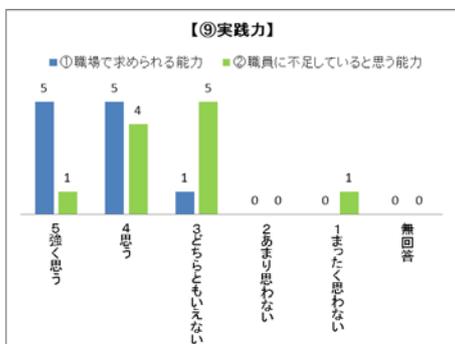
[課題発見力: 対課題基礎力1]

(8) 課題解決のための計画を立案する力

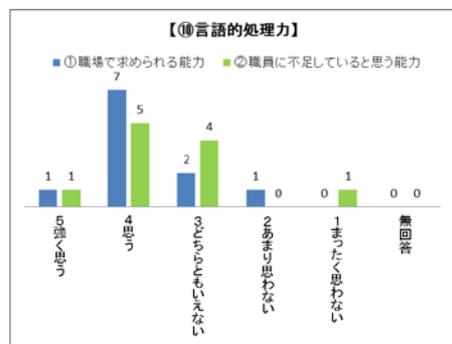
[計画立案力: 対課題基礎力2]



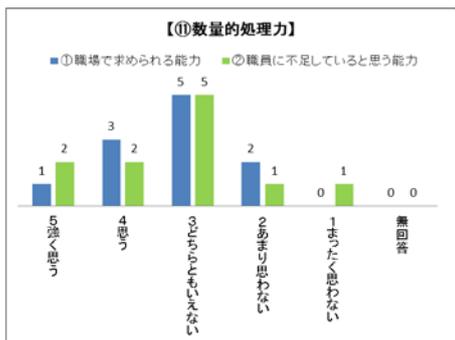
(9) 行動を起こし、最後までやりきる力
〔実践力:対課題基礎力3〕



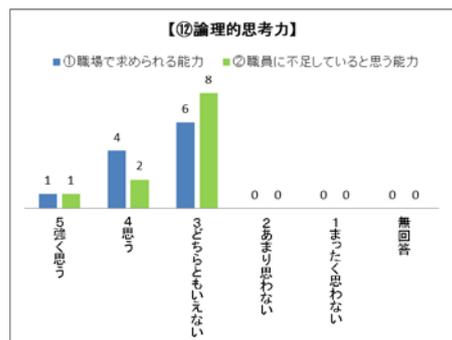
(10) 文章の構成や要旨を的確に理解する力
〔言語的処理力:処理力1〕



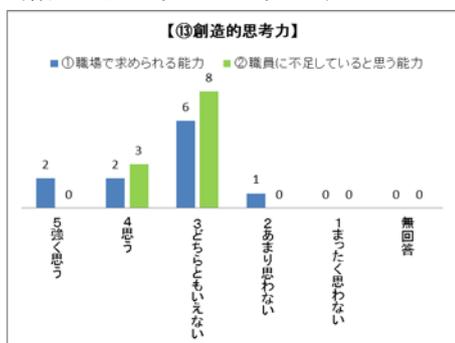
(11) データや数字をすばやく読み取る力
〔数量的処理力:処理力2〕



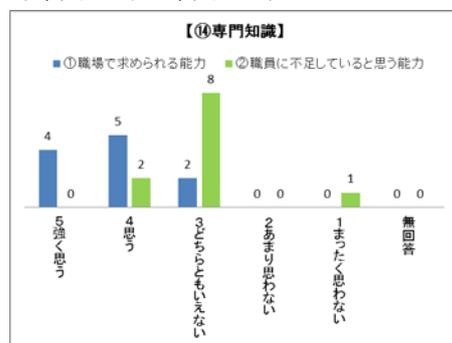
(12) 論理的に物事を分析・構築する力
〔論理的思考力:思考力1〕



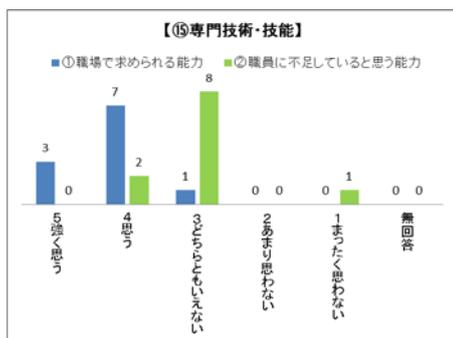
(13) 独自のものの見方や考え方をする力
〔創造的思考力:思考力2〕



(14) 現在の仕事に関する専門的な知識
〔専門知識:専門力1〕

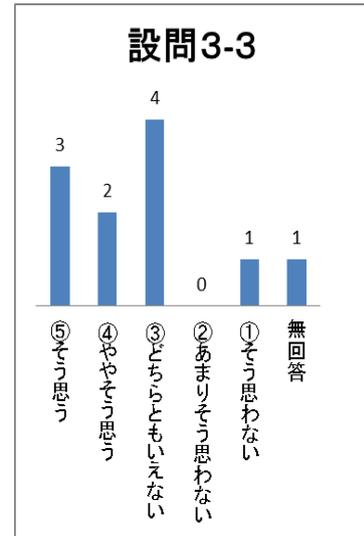
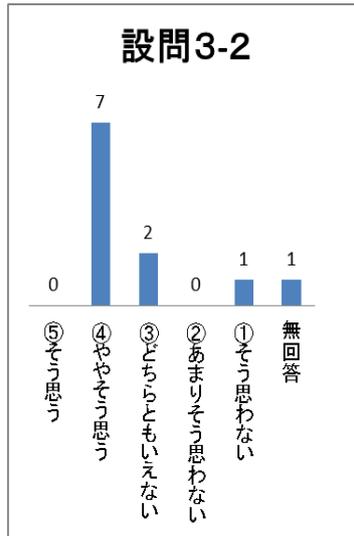
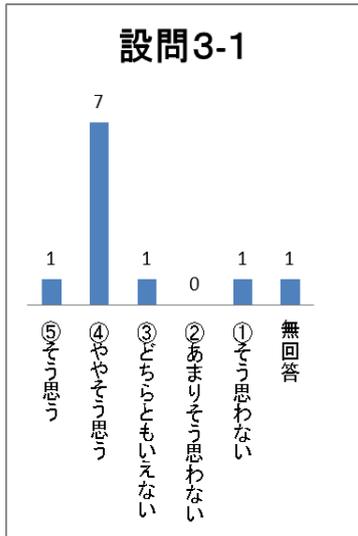


(15) 現在の仕事の遂行に必要な技術や
ノウハウ〔専門技術・技能: 専門力2〕



設問3: 本学での教育全般について○をつけてください。

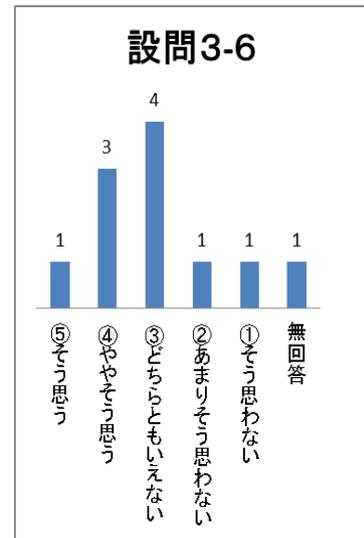
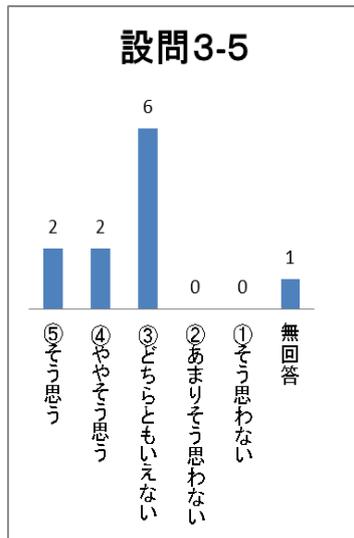
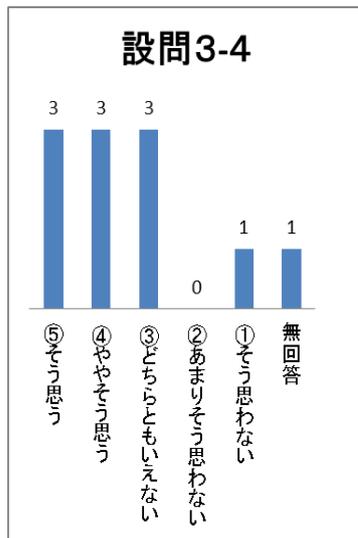
- (1) 専門領域における知識面 (2) 専門領域における技術面 (3) 一般常識や教養が身
での教育は適切である。 での教育は適切であっ ついでいる。
た。



(4)人間性の面で適切な教育がなされている。

(5)自己(健康・体調)管理についての教育が適切になされている。

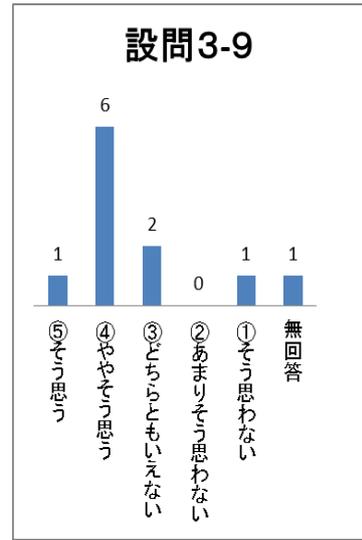
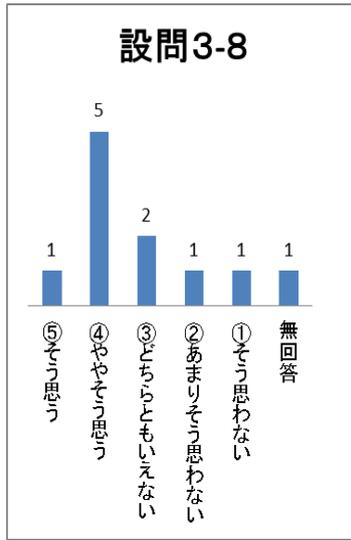
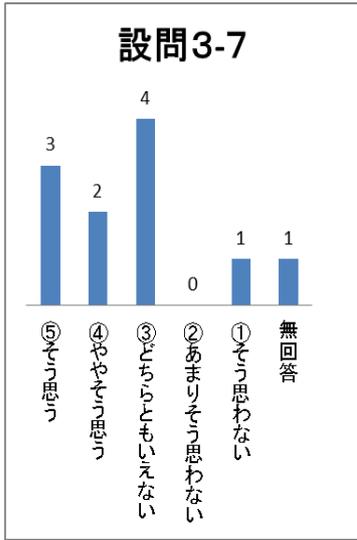
(6)コミュニケーション教育が適切になされている。



(7)笑顔・挨拶を含めた接遇が身についている。

(8)短大で身につけた能力を發揮している。

(9)短期大学での教育は、総合的に満足である。



(10) 今後も本学(短期大学)の卒業生を採用したいと思う。

